京城日報

本紙定價 一ヶ月金九拾錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 長六千九番 (振替京城三〇)

京城日報

間島撤兵條件(下)

[illegible]氏を固持する上に於て、實に當分[illegible]くべからざる條件であるが、側に依つて[illegible]面論に拘泥する支那として、殊に利權回收熱の旺なる今日に在つて、最も應諾を難んずる所であらう。果然北京より來る情報は、皆拒絕の意なることを傳へて居る。畢竟支那は間島將來に於ける秩序維持を約束するに止め、無條件で我が軍隊の撤退を要求して居るのであるが、是は餘り蟲のよい話で、我邦としては飽まで此の條件を支持し、其の交涉を進むべきは勿論にして、若し協定の成らざる場合には、止むを得ず現狀を維持するより外はない。

元來間島地方は支那の所謂化外[illegible]脫の土地で、今の言葉でいへば支那と朝鮮との間に介在する緩衝地帶ともいふべき場所であつたが、明治四十二年九月の協約に依り、我國は支那の領土權を認めたものである。爾來支那は同地方に對して多少の施設を爲したに相違ないが、例に依つて緩漫極まるもので、治安の責任を背負つて立つ樣な機關は、一も備はつて居なかつた。是れ今回琿春事件の樣な慘虐を惹起した所以であるが、支那側に於いては、同地方の僻陬で、交通機關の不備のため、其の取締の及ばざるを理由として責任を回避せうと努めて居る。即ち無條件撤兵要求も此の論據の上に築かれたものであるが、其樣な口實が今日の國際間に通用せぬことは知れ切つたことである。支那にして果して交通機關の不備より、取締の及ばざるを自覺して居るならば、何故に迅速に吉會鐵道(朝鮮北部と間島及び吉林を聯結する)を敷設せぬか、此の鐵道の敷設に就いては、夙に我邦と契約を締結し、既に一千萬圓の內渡金を受取居りながら、今日に至るまで言を左右に託して之を實行せず、今更交通機關の不備を辭柄とする如きは、如何に常規を以て律すべからざる支那のこととはいへ、斷じて容認すべきでない。故に我邦としては一方に交通機關の設備を促すと共に、當分の措置として第二第三の條件を附したのは、今日の場合、他に邦人を保護するの道がないからである。

然れども上陳撤兵條件なるものは、要するに當機の手段で、將來永遠に禍根を勦絕するには更に根本的の解決を爲すの必要がある。即ち明治四十二年の間島協約を改訂し、二十萬の居留民に對する保護を十分に行渡らす樣にしなければならぬ。之と共に支那の警察を提撕改善し、治安保持の任に堪ゆるものとしなければならぬ。更に具體的にいへば、間島協約では我邦は若干の警察官を派遣して、領事館の保護に任じ得る樣になつて居るが、一體間島住民の七八分は我が朝鮮人であつて見れば、更に多數の警官隊を派遣して之が保護と取締とを爲さしむべき必要がある。之と共に從來の如き支那軍警では、動すれば匪賊と抱合する患があつても、治安保持に些の効力がないから、滿蒙協約に依つて我邦から顧問を招聘せしめ、根本的に其の改善を圖らしむるのである。此の新なる交涉が何時頃から開かるゝか豫言し得ざるも、我が政府の方針が此に存することは吾等の疑はぬ所である。先づそれまでは權宜の措置として今回の條件を支持するは、蓋し止むを得ぬ所で、支那に於いて之に同意せざる限りは、又現狀維持を餘儀なくするものである。

飽まで謝罪要求
支那軍艦砲擊事件
小幡公使嚴重に抗議

支那政府が厄港事件に干する日本の要求第一條たる支那政府が日本に對し遺憾の意を表する件に就き不同意の意を回答し來りたるに對し小幡公使は十六日支那政府に對したとへ地方に起りし事と言へ其の非を認め乍ら支那政府として遺憾の意を表し得ざる故無きにあらずやとの反駁的抗議を提出せり(北京十六日發電)

不逞漢を庇護
する間島地方の支那人
帝國政府忠告せん

間島に於ける不逞鮮人は支那人家屋に潛伏し支那側に於ても亦之れを庇護するが如き形跡あるを以て右の如き事實は我が討伐の障害たるのみならず日支協同討伐の趣旨に反するに就き將來絕對に斯くの如きことなき樣支那官憲に對し忠告の手段を講ぜる由なり(東京電報)

邦人の土地契約
登記數著しく增加す

新排日土地法加州にて通過せるも本月一日以來邦人の土地契約登記著るしく增加せり該契約は多く期限三箇年なりと(桑港電報)

對獨講和讓步
發動機會社破壞問題
獨逸側の要求容れらる

聯合國はデーゼル發動機會社を講和條約の條項により破壞すべしと主張せるが獨逸側の要求により讓步し同會社の破壞を中止し發動機を獨乙國內にて所有する許可を與へたり(倫敦十四日發電)

ダヌンチオ軍の不滿
一大クーデターを行ふの

ダヌンチオ氏の徒黨はラパロにて調印されたる伊太利ユーゴースラビアン條約に不滿を抱き一大クーデターを企てたり即ちダヌンチオ軍はクロアシア中のアルベテ及ヴェルエー島を占領せるが右は新條約にてユーゴースラビアに割り當てられたるものなり(倫敦電報)

武裝解除を強制
反過激派軍に對して

ウエルフネ政府首相は最近日本井染大佐に宛てパルチザンの撤退前に武裝を解除するを拒みしを以て強制的に武裝解除をなすべしと諭へり(哈爾賓電報)

セミヨノフ軍大捷す

二萬の赤衛軍は十四日セメヨノフ軍に對し總攻擊を開始し激戰後大敗しセ軍は目下之を追擊中なり(哈爾賓十六日發電)

徐樹錚行方を晦す
小幡公使の對支通告

十五日朝徐樹錚氏は日本兵營を脫し行方不明となれるより支那人の誤解を避くるため小幡公使は十六日支那政府に公文書を以て右の旨通告せり(北京十六日發電)

東拓の對滿方針
南下途上の石塚總裁談

石塚東拓總裁一行は豫定の通り十四日夜來奉十六日朝安奉線にて五龍背に赴き同地一泊十七日安東有志の歡迎會に臨み午後四時京城へ向け出發の筈なるが其の談に曰く

今回の北京訪問は滯在の日少かりしと雖要路各大官實業家と會見し大に諒解を得たるを以て相當效果の見るべきものあるを期せり殊に近來支那側にては日支提携親善の緊切に感得したる模樣にして其の資源開發に日本の智識と資金を援くべく熱心に唱道しつゝあるの狀況なれば今後其の機運は益々促進され來るべく東拓としても爰に努力するを惜しまず

北京政界 の模樣は猶混沌として捕捉する能はず然れども今姑らくは現狀維持ならむか要は當局の誠意と熱心の如何にあるは言を俟たず彼の督軍廢止なども其の名稱すら變はれ實質は何等の差を來さず依然軍權を擁して地方に蟠居さる以上中央政府は如何ともする能はざるべし此に於て日本は東洋の平和を確保する上に於て眞の日支親善を實現するを要す此の點に於ては邦人としては宜しく奢侈を排して現時の支那を理解し且つ相當素養あり知識ある階級の往來理解に俟つ外なかるべし(氏は更に話頭を一轉し)

滿洲財界 の前途に就ては東拓としては從來資金の關係及時代の趨勢に依り執り來りたる方針を若干變め以て一般に臨まむとす然れども之を以て直ちに景氣の恢復は望まれざると共に東拓として此の資金投下に依りて眞に必要なる事業の起らむ事をこそ望め從來の如き不急の事業勃興は望まざる所なり一般は此の意を諒として以て東拓の誠意のある所に副はれむことを希望に堪へず京城にては多分總督と會見の時機あるべし今回の行に依り得たる對鮮人策の如きは亦其の機を利用して實現する所あるべしと云々(本溪湖特電)

王世子御歸京

李王世子殿下には近衞機動演習御參加の爲郡馬嶋玉兩殿下に御出張十九日御歸京の御豫定なりしが御都合に依り十六日午後五時御歸京相成りたり(東京特電)

朝香宮御歸京

特別大演習に就き御西下中なりし朝香宮鳩彥王殿下には十六日午前八時四十分東京驛着汽車にて御歸京相成りたり(東京電報)

定例閣議

十六日の定例閣議は午前十時より永田町首相官邸に開會原首相以下各大臣(鐵道、文部、農商務、陸軍各大臣を除く)出席內田外相より最近外交經過の報告ありたる後重要政務に就き協議し正午散會せり(東京電報)

豫算查定會議
十八日より

大藏省にては十八日より明年度豫算查定會議を開き遲くも本週內に終了し來週の閣議に提出する由(東京電報)

內務省豫算
一億五千萬

內務省明年度豫算は一億五千萬圓に達し前年度の豫算に比し五千萬圓の激增を示し居れるが之に對する大藏省の查定方針は緊急止むべからざるもの、外は次年度繰延べ又は削除せんとするにあるが如く未だ何の費目を犧牲に供するや不明なるも土木局所管に屬するものが同省豫算の大半を占むる干係上同局の要求額は最も懸念されつゝあり(東京電報)

中議團動靜
本社、帝劇へ招待

中樞院議員一行は十六日新宿御苑の拜觀明治神宮參拜東宮御所拜觀赤十字病院參觀の後寺內伯邸を訪問挨拶を述べ正午永田町首相官邸に於る原首相招待の午餐會に臨み夜は京城日報の招待にて帝劇を觀覽したり(東京特電)

首相の招宴

十六日首相招待の中樞院議員午餐會には各國務大臣其の他出席したるが席上首相の挨拶あり劉猛副長一同を代表して謝辭を述べ主客歡を盡して一時過ぎ散會したり(東京電報)

時事小感 (十の續き)
三笑生

◎然れども吾人は朝鮮民族の一大危機に際會して居るのを[illegible]視することが出來るであらう乎。斯かる不親切な事が、何うして吾々大和魂の持主たる內地人に出來やう乎。如何なる困難を排しても、此の未曾有の危機を脫出すことに努めねばならぬ。予は今日一般に感じて居る良否の感別、賞罰嚴行の第一義手として、先づ朝鮮人官吏の肅淸を圖つては何うかと思ふものである。何となれば、前の[illegible]に述べたやうに、下部の[illegible]屋に依りて、全體の朝鮮人官吏に倦怠を來さしめ、延いて之が總督施政の障壁を築きつゝあるから、之を取除くるの要あるが爲である。また一方には一般吏に緊張味を有たせることにもなり、優良なる人材登用の途が開かれると云ふ利益が伴なふのである。

◎何故に朝鮮人官吏の肅淸を先づ叫ぶかと云ふに、內地人官吏は、總督政治十年の間には、[illegible]度か更迭もあり、淘汰も行[illegible]が、朝鮮人の官吏には、[illegible]それが無かつた。道知事參與官以下の官吏を眺めて見ると、十年一日の如く餘り動いて居ない。猫の眼のやうに每日任免黜陟の行はれた舊韓國時代に[illegible]であつた者等には、全く[illegible]の奇蹟として見られて居るかも知れぬ。また若い理屈屋連中は、鮮人を無視して、如何でもよいと云ふやうな考へであるからだと不平を並べて居るものもある。何れにしても、官界の肅淸を圖ることは、人心を新にするに一[illegible]の方法たるを失はぬことゝ思ふ。

噂の人 (一〇)

[illegible]一課長曰く『餘程世の中が激變して來たネ△近き將來には或は俸給生活者就中官吏は細君が持てなくなるかも知れぬヨ此間も或る官吏が私の處へ遣つて來て△年々不幸續きで殆ど閉口してるが何とか救濟の方法はあるまいかとの事に、不幸つて何だと尋ねたら每年子供が生れて又近く生れやうとしてると眞面目で殆ど思案投首の態であつた△獄マルサス主義の絕叫されるのも蓋し偶然ではないネ』と

慶州懷古
洪木春

風雨凄迷古國秋。石人無語水空流。客來欲弔興亡跡。衰草寒煙不耐愁。
獨立秋風古國山。興亡千古瞬間。繁華陳迹知何處。唯有寒鴉向晚還。

娯樂世界 十二月號 これは意外!! 秘密奇談

□平井權八 辻斬の秘密…猫遊軒伯知
□百萬長者 紀文大盡物語…悟道軒圓玉
□因緣 役僧の秘密…千代田錦[illegible]
□天明白浪 長屋騷動…森下金[illegible]島
△清談 阿古屋の琴責…英昌
△秘話 丑の刻まゐり…小柳[illegible]
△秘密 越前家斷絕…錦城
△名家 鶯塚の由來…桃川若燕
△毛谷村 母の簪玉…寶井馬琴
△江戶 天命の大饑饉…
△五郎兵衛 阿蘭陀醫者…三木如[illegible]

特別大懸賞募集 ある妙味
[illegible]

△小說 枯れ柳 △怪談 高田幽靈寺 △秘談 雨宿りの家 △奇談 熊の湯奇聞 △再生 中佐の復活 △江戶 御仕立物所 △溫泉 足の向く △小說 歸る儘雁

長篇小說 逆さ富士…江見水蔭
長篇小說 双兒の仇討…半井桃水
長篇秘密 木曾の若僧…本[illegible]
長篇小說 往鄉唄…北島春石

[illegible] 東京[illegible]町 娯樂世界社 振替[illegible]三三八四四

日本少年少女文庫

兩皇子殿下 御台覽 各宮八殿下 御買上
各地圖書館學校東京市全區[illegible]等名家實業家官吏學者等[illegible]數
【著者】每卷專門の學士敎授【畫家】和田岡田高村丸山三宅岡本等二十五人其他[illegible]挿畫三百
▼毫號文部省認定▲
本文庫の光榮 顧客の[illegible]に追從を許さざるなり! 苟も子弟の幸福を希ふ父兄敎師の方々は、此豫約期を逸し給はざるべし(申込十二月十日限會員三千限)
每月一冊配本[illegible]
東京牛込新小川三九 株式會社日本社內 日本少年少女文庫刊行會 振替東京四八三九一番
【申込取次 全國各書店】

[illegible]測量[illegible]
無線式の通信敎授にて測量學の一般を敎へ熟練堪能の測量師を養成す斯界の機關立身の近道
最大速成 三ヶ月卒業 講習生募集 (詳細規則 無代進呈)
東京巢鴨町宮仲 大日本測量通信學校

少年讀物の絕對權威 第二回(豫約募集)
文章平易—內容豐富 小學三四年から中學女學二三年向
全[illegible]卷每卷菊判二百頁裝幀和田英作氏[illegible]
(組織的)少年の忠實な百科寶典
(創意的)少女の健全な机上圖書館
(藝術的)家庭の高級な裝飾繪本
(敎育的)圖書館學校の標準文庫
【顧問監修】[illegible]
アソビノヤウニ オモシロク
オ菓子ノヤウニ ダレモスク
スザ道ノタツオ マトマツタ
ウツクシイ 繪ノ多イ本

セメント瓦
本社製品之光榮 總督府、各道、陸軍、[illegible]其他ノ一般高等御建築ニ採用之榮
年內製品品薄 各地分工場共年內製品ハ豫約濟新規御需用ハ此際至急御註文ヲ乞フ
京城明治町一丁目 特許セメント瓦製造株式會社 電話長九三七番

債券擔保貸付
株式會社勸業債券月報社(本店日本勸業銀行構內)
福岡支店 福岡市博多下吳服町 電話一五四五 振替福岡九五五〇
廣島支店 廣島市大手町 電話一九五三 振替下關一四五六〇

主婦之友 十二月號

肺病を全治した治療實驗
◎幾度も失敗したする時に漸く全治した實驗…(近代生)
◎自殺せんとまで悲觀した肺病療法の實驗…(ひろし)
◎死を覺悟した肺病を全治する迄の哀れ悲しき思出…(洗)
◎藥物を廢して自然療法で恢復した私の肺病全治實驗…(樂天生)
◎腸結核は如何に治療すべきか…(原醫學士)

結婚後長い年月を經て漸く子寶を得た實驗
◎結婚後九年目の三十二歲にして初子を得た私の實驗…(貞子)
◎他人の子供を預つて實子を生んだ奇蹟に近い實驗…(與志子)
◎主婦之友の記事に依つて六年目に姙娠した私の實驗…(かへで)
◎最後の日の乃木大將夫人…(綠園生)

戀ゆゑに罪を犯した女敎諭
‖卅二歲まで獨身生活を守つた女敎諭が若い異性と戀に陷る物語
◎趣味と實用を兼ねた小洋館…(本誌記者)

中年婦人の戀愛問題
◎中年婦人は何故に年少者を戀するか…寺田精一
◎戀愛關係に現はれたる新らしい傾向…中村星湖
◎疑がはしきかよ子女史の戀愛觀念…西川文子
◎家庭に於ける子供の復習法…本誌記者
◎和洋服兼用子供下着作方…とく子
◎簡單で愛らしい子供冬帽…本誌記者
◎幼女向きの手提袋の拵方…本誌記者
◎リウマチスと神經痛の藥…花村夫人
◎寒い時に喜ばれる平民的料理

渡邊霞亭(島成園女史畫) 長篇小說 金扇
過去二年の間每號非常の好評を博した霞亭先生傑作「金扇」も本號を以ていよ〳〵大團圓となりました。愛讀者諸姉の興味の中心となつた靜枝の行方は如何、完次と壽子の戀の成就は如何、信子の離婚問題は如何、虎一や淸子や澄子等の惡徒の終は如何。これら多くの問題を解決して長いあひだの惱みの雲を一掃した「滿月の卷」を、どうぞお早く御覽下さい

秘密小說 吉祥草…岡本綺堂
諧謔小說 珍太郎日記…佐々木邦
繪畫小說 心の影…岡本靈華

定價四十錢 [illegible]
東京神田[illegible] 東京家政研究會

平和後始めての聯盟總會
五十二箇國の代表者集まる
會議第一日の光景

五十二箇國の代表者を網羅せる國際聯盟總會は本日愈々開會せられたり劈頭白耳義前首相イマン氏ウイルソン大統領の發せる第一回總會召集命令を朗讀し瑞西首相モッター氏之に對する答辭として列國代表に對し歡迎の辭を陳べ次で資格査定委員の選擧あり右終つて第一日の會議を了れるが議事の興味は南阿の代表として出席せる英のロバートセシル氏の親任狀問題に集注さる蓋し問題は聯盟は其代表者として他國の人民を信認するや否やの點にあり(ゼチバ十五日發電)

上院議員當選 高谷豊之助氏

青森縣多額納稅議員大阪金助氏辭任に付十六日當縣廳に於て互選の結果高谷豊之助氏十三點にて當選せり(青森發電)

日本委員の打合せ
總會に對する方針決定

日本全權は今朝當地に到著して打合會議を開きたり其人種案に就ては特に必要生ぜざる限り提案若くは主張する事無かるべしとの事なるが聯盟規約改正案は他の外國と同樣反對するもの・如く獨逸の加盟問題は時期尚早なりとの意見次第に有力となりつゝあるが恐らく問題とならざるべし出發に先立ち林全權石井全權は佛國代表者との間に大々意見の交換をなしたり尚支那代表顧維鈞は數ケ月前結婚したる佳麗なる新妻を携へ之も本日當地に到著せり(ゼチバ十五日發電)

人種案は審議されぬ
事務局に提示せぬ爲

當地に於て報道せらる・所に依れば日本の人種差別待遇撤廢案は今回の總會に於て議事として取扱はる事を得ずと其理由は聯盟總會の議事に上すべき議案は開會三個月前之を聯盟事務局に提示せざるべからざる規定なるが日本は右問題に關し何等報告する所なかりしを以てなり(ゼチバ十五日發電)

議長はイマン氏
白耳義の前首相

前白耳義首相イマン氏は國際聯盟總會の議長に選ばれたり(ゼチバ十五日發電)

排日法を無効
にする日米の新協約
近く上院に提出

日米新條約は殆んど完成し十二月中に上院に提出さるべし該協約案には既に移住せる日本人に對し完全なる市民權を付與する事は同等明文に規定し居らざるが之に依り高等法院が新たに制定されたる加州土地法を否認し得る事の出來る樣にし以て日本人に對する平等待遇を保障し居るもの・如し(桑港十五日發電)

庫倫又々危險
日本居留民引揚げん

反過激派露軍及び土匪のため庫倫又々危險に瀕し日本居留民全部引揚ぐる事となれる旨庫倫駐在武官より急電あり救助のため酒井公使館書記官白井書記外務官三名自動車六臺にて十七日庫倫に急行する事となれり因に庫倫には在留邦人男女十二名あり(北京十六日發電)

統一善後會

新總理が委員長たる北京統一善後會は新國會員より八十名を物色して委員たらしむべく各省長に打電し舊憲法制定會議に對しては責任を負はざる事を說明し委員に對して入會せん事を勸誘すべく議決したり(上海十六日發)

新條約案脫稿
兩國政府に移牒

幣原大使と駐日モーリス大使と折衝中なりし日米新條約草案を完成し兩國政府に移牒せり(華盛頓十六日至急特電)

加州排日聯盟會

上院議員フイラン、ジョンソン兩氏は十四名の加州選出下院議員と共に昨日排日聯盟會に出席したり上院議員ショートリッヂ氏は出席せざりきフイーラン氏は日本及他の亞細亞人を排斥すべく起草せる移民法案を提出せりサクラメントタイムスのマクラー氏は此聯盟に依り華盛頓に於て日本新條約を締結せんとしつ・ある國務省の計畫を打破すべしとカ說せり(桑港十日發電)

英國の對露封鎖
セバストポール陷落疑はし

コンスタンチノーブル來電に依ればセバストポールの中心は今や危機に瀕し同國避難民を運送する有ゆる手段講ぜられつ・あり又同報道によれば赤軍はセレコフの戰鬪に三萬を失へりウランゲル軍の兵力はコンスタンチノーブルに到著せりと同黑海露國艦隊は英國水雷艇により封鎖せられ同艦隊は過激派軍の土耳古に入るを防止する爲め嚴重なる警備をなしつ・あり又ウランゲル將軍自らはセバストポールに留まり居れりと傳へらる(倫敦十五日發電)

英國は嚴正中立
對露封鎖說を否認

英國陸軍省はウランゲル軍の敗北に干し對露封鎖をなすべしとの說を否認し英國政府はウランゲル政府を承認せる事なく又通商問題に干し勞農政府と交渉中なれば嚴正中立なりと言へり(倫敦十五日電發)

常平倉問題

國際問題として果して實現すべきものなりや否や憂慮に之が……の根本策を樹立する問題に……の意見なるべく決して價……し此等各國政府に局と共に賠償價格を決定……には幾多の故障ありたるべく或は以て政爭の具に供する弊害しにあらずや等……が完全なる運行を爲す能はざり……常平倉設置問題に就ては實際上はるべき事にあらざるべし要す……りして開墾助成法の補助金增加を要求して今期議會に提出さる……緒に著かず而も以て豫明の成績を擧ぐる能はず……

伊勢大廟
御改造決定

伊勢大廟は二十年每に御造り替へせらるゝことになり居り現在の神宮は明治四十二年十月二日御遷宮相成りたるものなれば大正十八年にて御遷宮に相當するを以て內務省にては皇大神宮豐受宮及び別宮十三社の御造り替へをなすことに決定し御工事費一千餘萬圓は明年度以降の繼續費として支出する事となりたるが明年度豫算には御用材其他準備費二百五十萬圓計上すべしと(東京電報)

獨逸に沒收された
邦人財產總額判明す

日獨開戰に際し獨逸政府に沒收されたる邦人の金員財物は可なりの額に達するが外務省は講和締結と同時に直ちに獨逸の敵國財產管理局につき調査せしめたる所今回其報告到著せり之に依れば銀行預金七百六十萬馬克、商品に關する債權五十六萬馬克、手形類四十五萬馬克にて被沒收人は來る二十六日迄に司法省の特殊權利審查會に申し出づべしと(東京發電)

研究會幹部
改選の結果

研究會にては豫て幹部改選に就き動搖中なりしが十五日午前十一時同會本部に於て開票の結果左の諸氏當選せり(東京電報)

德川賴倫、青木信光、酒井忠亮、伊東祐弘、小松謙次郎、柳澤保惠、松平賴壽

內地金融
資金ダブ付

金融市場は各銀行警戒依然緩慢なるを以て放資物は一流手形以外を回忌する傾向あるがため各銀行とも資金潤澤にして安全且つ高利廻りの有價證券を物色しつゝあり此傾向は明せずして公債物社債物放資の趨勢となれり(東京電報)

辭令(十六日附)

晉州公立農學校教諭 佐藤陽太郎
補岡山農業學校長(東京發電)
副領事 古谷榮一
任領事(六等)
朝鮮總督府判事 尹台鎭
關東廳技師 木下義藏
依然免本官(各通)(東京發電)

吉會鐵道促進か
間島條約廢止の交渉

間島撤兵の保障に干する交渉に次いで明治四十二年九月締結の間島條約の廢止交渉さるべき模樣なるが支那側多年の主張たる特殊條約は一條約に優るとの點を固執し相當面倒なるべきも間島地方に於ける鮮人を支那の法權に服せしめおくは將來の禍根を殘す虞あれば此際是非とも間島條約廢止を迫るべし然る時は其第六條の『清國政府は將來吉長鐵道を延吉南境に延長し韓國會寧に於て韓國鐵道と連絡すべし』云々の規定あれば吉會鐵道問題にも觸る・事となる次第にて吉會鐵道は寺內々閣當時假契約をなせるも實現せず今日に至れる關係あれば日本は之が契約の締結方と會辦促進に干する協議を試むる筈なり(東京發電)

新設の土地改良課
殖産局 篠原農務課長談

今回殖産局に土地改良課が新設せられて農業水利、開墾干拓其の他土地改良に關する事務及び國有未墾地に關する事務は農務課より分離されて此の新課に屬することゝなつた從來本府に於ける事務分掌上の沿革を見るに大正四年三月迄は灌溉水利及び國有未墾地に關する事務は農商工部農務課に屬して居て水利組合に關する事項は全部農務課に管掌せられて居つたが水利灌漑に關する事項は概ね治水の事務と密接の關係があると謂ふので農商工部より之を引離して土木局に移さるゝことゝなつた然るに其後に至つて所謂**食糧問題**が朝野の大問題となると共に耕地の擴張改良といふことが一般に注目せらる・やうになつて以來之に關する行政が殖産、土木、內務の三部局に鼎立して居ては動もすれば事務の聯絡を缺ぎ或は處理の方針に乖離を來すの傾きがあるのみならず仕事の性質上殖産局の主管たらしむるを至當とし本年六月に事務分掌規程改正せられて農業水利に關する事務は再び農務課の主管に屬することゝなつた是より先き總督府に於ては帝國食糧問題の現況に鑑み又朝鮮の**産業開發**の見地よりして積極的に新田の擴張改良を奬勵するの計畫を樹て大正九年度に於ては實行豫算として十六萬圓を計上し更に追加豫算として六十萬餘圓の經費を支出して其の進行を圖ることゝなつたのである(未完)

土地改良課
管掌事項

今回總督府殖産局に新設さるべき土地改良課は(一)農業水利に關する事項(二)開墾其他土地改良に關する事項(三)國有未墾地に關する事項等を掌るものにして課長には篠原農務課長兼任するに至るべしと

時局問題打合
總督と軍司令官

大庭軍司令官は十七日午前十一時小佐治副官を隨へ總督官邸に齋藤總督を訪問時局に就き打合する處ありたり

龍山工場完成
修繕能率增加す

京管局龍山工場は去る大正七年度より約百七十萬圓の巨額を投じ擴張の計畫中の處歐洲戰亂の影響を蒙り米國に註文したる機械等延著の爲め工事進捗せざりしも漸く全部到著したる爲め今回漸く工事の完成を告げたり是が爲め工作機械約五十增加し修繕能率を增加したる外從來汽罐車製作能率の約八割を增加し機重器の如き從來百噸一臺二十五噸一臺、千噸一臺計三臺に過ぎざりしも更に三十噸一臺・十噸一

各守備隊營舍
全部完成

今秋九月より咸興、遂安、慶州、德川、定州、新義州、成川、載寧、海州等守備隊の新築工事中なりし兵營及附屬家屋は今回悉く竣成したるを以て第二十師團經理部長芝田忠五郎氏は技術官木戸鐵太郎氏を隨へ來る二十五六日頃出發各守備隊の新營舍を檢察する事に決せりと

南北滿洲
哈爾賓の近狀
中西鮮銀營業部長談

南北滿洲に出張中なりし中西鮮銀營業部長は十六日夜歸任したが氏は語る

滿洲各地の特産は步々出廻り期に入つた作柄は平年作と云ふかむしろ相當荷動きを期待してよろしいが何分相場軟弱のため買手進まず結局**鐵道各驛**の滯貨は非常の數を算する事となるであらう

狀以上の如しとせば舊資金の時越は別とし新規の資金は各地共昨年の半分も要らまいと思はる・哈爾賓に行つて見たが今年は何處も同じで詰まつてゐる而し支那街は東三省の官銀號が一週間に七百萬圓も貸出しをしたと云ふ噂それに伴ほドシく出すらしいとの事だつたが傅家甸方面は大分活氣立つてゐた哈市に入つて愉快に感ずるはルーブルの價値が全くゼロ同樣であつてドコの商店に行つても**商品の正札**は恐く金圓建である事だつた鮮銀券は何等の故障なく流通——寧ろハルビンの奧地では金貨以上に信用を維持してゐる唯東清鐵道は支那の管理に移つてゐるので貨金その他全部大洋建なるを異とするのみ在哈の商品は被服等に於て若干の英米品を見る外大部分日本品だが品質は餘り優良ならざるやうである又同地の物價は悄々たるやの噂もあるが事實大した事はなく寧ろ哈爾賓長春間の車中の方が警戒を要する點多いやうであつた鮮銀券の低價說は噂ばかりと云てよい大連の**救濟資金**は申込み振は……ぬらしい之れは何にでも金が出すと云ふ事になれば相當出もしやうが一定の條件を附し資金を出すとなれば要求の時の聲の旺んな反對に存外少いものである今夏奉天や營口の救濟資金の結果によつても大連の大體は察しらる。然し追々需要も殖へるであらう

不買同盟
西鮮鮮商決議

全鮮綿布商大會の申合せに基づき十一月一日より綿絲布の取引きは一切二十日以上の延べを許さゞる事となりしが平壤を中心とする西鮮各地の鮮商は京城の綿布商大會に於て從來の四十日延べを半減したるは不利益少からず吾々は右決議に參加せず從つて實行の義務なしとて內地人卸商に對し數日前不買同盟の決議をなし京仁方面に於て現金買ひ付けをなす旨聲明しつゝあるが右は一種の政策なるべしと云へざる傾向あり結局鮮商は內地より移入の計畫なりとも稱し居れど內地移入並に京仁に於ける現金買付けも平壤の二十日延べより不利につき結局永續不可能なるべきも同地方商界の一暗雲として解決如何を注目されり

特資申込漸增

朝鮮殖産銀行に對する特種資金は其の後步々申込みあり既に約百五十萬圓に達したるが貸借の商議終了せるも擔保たる不動産の抵當權設定の手續き等の關係上尙ほ現金を出したるはなしとの事なり

國債賣行不振
總額の半分

京城郵便局にて配付を受けたる(五號)國庫債券總額は七千二百九十圓にして十一月一日より同十五日までの間に於て同局にて賣渡したる額面金高は八百二十五圓を出でず他局へ轉送賣渡しに係るもの三千三百二十五圓合計四千百五十圓にして思ひの外其の賣行き振はざりき

中鐵社債賣切

朝鮮銀行の引受けにて市場に賣出したる中央鐵道社債は短期好利廻りのため十六日賣切れとなりたりと

鮮鐵納付金問題
總督府側の讓步にて
實費計算主義に內定

朝鮮鐵道移管問題に對しては其の後滿鐵よりする納付金條件改訂の件に關し數次兩當事者間に意見を交換し一方政府筋の斡旋に依り最近略兩者の意志疏通せるもの・如くなるが結局總督府側の讓步に依り滿鐵の主張通り實費計算主義に依り鮮鐵純益金に對する百分の六以上に達する時は從前の如く六分を總督府に提供し尙益金が六分以上に超過したる時は右超過額を鮮滿兩者に於て折半することゝし斯くて若し純益六分以下の場合は實費計算に依り益金全額を總督府に納付することゝ及右新契約實施期間は取敢ず一ヶ年とすることに內定せるやに聞す(東京特電)

高步預金の整理
資金需要の不振と銀行の態度

鮮地出穀季に入りたるも穀價軟安値は十八圓三十錢臺に慘落期のため産地の賣惜み並に內地注文不振あり當業者の**買附手控**へ傾向となり穀物資金の需要は甚だ振はず鮮銀、殖産銀行を初め各銀行は何れも手許金潤澤なるにも拘らずその申込少く又一般資金需要も甚だ不振なるに一方收は步々ながら入金あり何れも各銀行共一時は潤澤の現狀にあり從つて資金を漸く解き初め相當確實の物件に對してはその放資を歡迎する傾向を生じ一方高步の預金は漸次整理さる・模樣あり市中銀行中年利八分以上の**定期預金**は如何なる事情ありとも其の引下を要請し預け主に於て肯んぜざればその挪戾しを決行するまでに至り居り即ち市中金利は預金方面の引下げ實現著々現はれ來りたるにつき手許資金の豐富と共に貸出利率の低下避け難く今冬の經過にさした波瀾なくば明春匆々實現さるべしと尙ほ市中銀行中八分以上の高步を附し預金を吸收する銀行一二あれど該銀行に預金の移動し行く如き狀況は認められずとの事なり

米價激落
期正循環安

豐作確實殊に古米殘存多きため米價大勢の軟弱は避け難く廻米薄の聲あれど季節とて何處とも出廻りあり十七日群山正米は二十二圓五十錢と暴落し前日に比し二圓安釜山は一圓安の二十四圓京城五十錢安の二十三圓五十錢と何れも頹勢阻止し難く忠州にては合格品十六圓の貢物ありとも云ふが仁川期米も十六圓十九錢を割り十七日前場の

電力問題研究
商業會議所委員會

京城商業會議所にては十五日午後二時より電力供給上問題に關し實行委員會を開催し同問題に就き遞信當局に質議すべき二十五條の條項を審議し且つ遞信當局の意見を聽取することに申し合せたり其結果十六日午後一時より美濃部俊吉氏等七名の實行委員は遞信當局を訪問せり

蠶絲製造打合
水原に於て開催

總督府殖産局にては來る二十五日より四日間水原勸業模範場に於て道蠶絲製造試驗打合せ會を開催すべく各道主任打合せ會を開催すべく總督府よりは十時技師大崎技手等臨席すべきが其の日程左の如し

△二十五日本年實施せる事業の內容及其の成績の聽取△廿六日大正十年に實施せんとする事業計畫に關し其の計畫並に實施方法に就き意見の交換△廿七日同上△廿八日講評

電力使用委員會

京城電力使用者大會委員會は十六日午後二時より京城商業會議所に開催し去る十四日の大會決議に基き會社に對する要望として目下修繕中の機械が完全に復舊して供給力增大の時機に達する迄値上げは從前の儘とすること機械修繕中と雖も極力需要者の便宜を計ること最低消費量力數の引下げせしむること其他目的貫徹の方法京電會社が停止等の場合の處置及び大會申合違反者に對する制裁等に付き協議したり

政友會調査委員
二週間滯城の豫定

十六日入城したる政友會代議士波多野承五郎氏一行は政友會の朝鮮統治に對する大方針を決定すべく夫々其當事者が時局問題及び朝鮮將來に對する諸調査の爲め進行渡鮮したるものにて一行中の山崎猛代議士東道の主となり約二週間滯城の上平壤安東等の北鮮國境地方を視察して再び入城各方面と意見の交換を爲し歸東すべしと

宗伯爵の來鮮說
重大要務を帶びて

東都消息に於て傳ふる伯の名を聞せる舊對馬藩主宗伯爵は近日中久方振りに朝鮮の風物探勝がてら來鮮すべしとの事なるが人も知る宗家は往昔代々朝鮮との修交の衝に當り鮮土に由緒ある顯著なるものあり最も朝鮮との因緣淺からざる所より假令今回の渡鮮は單なる探勝旅行とのみ受取れずいづれ何等か重大要務を帶べるに非ざるやと釜山在住の舊藩士古老間に臆斷せられつゝあり(釜山)

產銀拂込期

計畫中なる資本金五百萬圓の朝鮮產業銀行は九月より十月に亘る第一回拂込みは不況に終りしが更に十一月二十日より十二月十日までに拂込みをなさしむべく株式引受者に通知を發し居り流產說あれど計畫者はその創立を期し居れる由なり

儒生團歸る

慶南北道儒生內地視察團一行道參與官申錫麟氏外三十餘名は十六日朝釜山に歸著十一時發列車にて北行せり(釜山電報)

產鐵總會

朝鮮產業鐵道會社にては來る三十日午後一時より東京商業會議所に於て株主總會を開き當期決算案並に株主有馬某外五十名よりの請求に係る會社解散に關する件を附議すべし

鮮銀券週報

十一月七日より十三日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は九千六百十萬九千圓にて週末の發行高は九千四百九十五萬圓なり

鐵道荷扱所移轉

京城本町鐵道荷物取扱所は來る二十一日より本町三丁目二百一番地に移轉する由なるが位置は元荷扱所の通り四角より三四軒東に入る下川目用雜貨店の附近なり

府議選戰

形勢漸く緊張
候補者定員に達し
到る處白兵戰起らん

定員不足を唱へられたる京城府協議會員立候補者數は十七日に至り鮮人側より李世默、李聖旭、辯護士の三氏名乘を上げ之にて總員十二名となり內地人側は起否依然不明と目されし林田金次郎氏三上豐氏の中三上氏は土木業者の高島團諸氏參謀となりて運動を開始したるを以て立候補數十八名となり之にて內鮮を合せて定員に達せしが若し林田氏にして立候補せんか一名の定員超過となり更に鮮人側よりも何時突然名乘を揚ぐる者を出すや知れざるを以て決して各候補者は安心なり難き狀態なり既に各候補者は一票にても多くを獲得せんとて部分戰より全市戰に戰線を擴げ防戰と切崩しに各所に激戰を交へつゝある中にも南大門外は小杉、三好、肥塚の三氏の巴戰を演じ居れるが追々に肥塚氏の旗色頗る振ひ旭町一丁目方面は小野勝五氏の地盤にして他の候補者を許さじと防戰に頗る努め……杉、諧八氏は屢々逐鹿場裡に馳逐したる經驗と運動員に有力者ありて相當の効果を收めたるが如く縞崎半助、鍋島宇吉の兩氏は得票は少かるべきかとの觀測もあり

當選確實なりと云ふ古權溪、秋吉富太郎の兩氏は本町二丁目及南山町一二丁目候補として既に成算を得たるが如く大垣氏、田中氏、志岐氏、高井氏等は何れも人氣者として呼び聲高しかくて最後の白兵戰は刻一刻急迫し來れり

掛野中將來期

久しく西伯利に在勤中なりし掛野中將は廿二日哈爾賓を發し朝鮮經由東上の筈なるが一行の中の吉橋少將は先發として十八日歸著す

石塚東拓總裁

滿洲各地視察中なりし石塚東拓總裁は十七日朝安東驛に來著正午安東……

陸軍雜纂

△工兵學校入學 工兵第二十大隊附志賀又雄氏は今回陸軍工兵學校學生として分遣を命ぜられ二十日頃出發の筈△西主計送別會 第二十師團新設當初より師團司令部主計として勤勉の西東氏は二十日午後七時半龍山驛發東京に赴任の筈に付淨法寺師團長以下司令部高等官は十九日正午司令部樓上にて送別午餐會を催すべしと

公會私會

○總督官邸午餐會 齋藤總督は十七日正午より米國休職陸軍少將クローヤア氏夫妻及英國總領事ミラー氏を官邸に招待し午餐を饗せるが各局部長今村通譯官、守屋秘書官、長牛井生務官、高島御用掛も出席せり

○齋藤總督の饗應 齋藤總督は十七日午後四時より官邸に十六日入城せる波多野、二宮、高見、山崎……

○總督官邸晚餐會 水野政務總監は十九日午後六時より總督官邸に於て晚餐會を催し目下入城中なる波多野、二宮、高見、山崎の各代議士並に牧山耕藏、園重發、菊池謙次郎氏等を招待すべく總督府側よりは赤池、大塚、柴田、歌川、竹內の各局長和田部長、丸山、弓削、矢鍋、國友、中井、藤原の各事務官出席すべしと

人事消息

△山田忠次氏(新任遞信事務官)十六日朝著任せり
△吉田賢男氏(釜山稅關事務官)十六日夜入城
△石塚英藏氏(東拓總裁)十八日朝安東より來城の豫定
△蜷川新氏(法學博士)同上
△清水常吉氏(東拓秘書役)同上
△住井三井安店長 十七日平壤へ
△美濃部俊吉氏(鮮銀總裁)十九日東上の豫定
△成納德三郎氏(同副總裁)東上中の所十七日出發歸城の途に就く
△久保京管局長 久しく東上中の處十八日夜特急にて歸城の筈
△安藤又三郎氏(京管局運輸課長)十六日夜釜山より歸城
△大內要氏(京管局經理課長)同上
△久門規二氏(同建設技師長)同上
△川江京管局工務課長 線路檢閱の爲め京義線に出張中の處十七日夜歸任
△平澤安次郎氏(朝鮮軍經理部)……
△岡村少佐 水町軍事調査會委員の先發として十七日朝來城
△植松多一氏(龍山無線電信所長)二十日鎭海、木浦、慶南地方に出張
△林田次氏(朝鮮軍醫部長)南地方より歸城
△コペラ伯夫妻 滯城中の處十七日朝十時發奉天、北京へ向ふ
△クロー氏(英大使館商務官)十七日夜發東上
△ミス、ザエイン氏(南高……)女子教育に從事せる米國人……
△柴田善三郎氏(學務局長)……出張中の所十七日午前九時……
△橋本左五郎氏(勸業模範場技師)……の爲め十六日午後八時入城
△中西喜久男氏(鮮銀營業部長)南北滿洲旅行中の所十六日夜歸
△熊本利平氏(釜山農業家)十一月十七日午後八時半京城ホテルへ投宿
△阿部喜之輔氏……
△高尾亭氏(元奉天總領事)十七日朝釜山上陸十時急行にて北行(釜山)

寸鐵

明治三十九年頃仁川理事廳理事官として相當手腕を揮つた信夫淳平氏は當時大いに將來有材の新進官を以て矚望されて居つたが其の後何時の間にか外交界を去り今頃では東京の某私立學校の教授として納まつてゐるさうだが人間一生の變化は實に解らぬものだ△外交官といへば之れが古手は公使級より領事級が一番能く民間に買れて行くさうだ一例を擧げると與田竹松氏の白木屋、潤田文造氏の東京府局長なんぞが其の重なるもので其の他名の餘り出ぬ方面にも夫々適所を得て居るらしい△ところが公使級となると却々さうは行かぬ先づ大抵は無任所として外務省の任務に服し一定の年限が來ると自然廢官となつて能の人となる譯だが今度政府が珍しくも外務調委員に推薦したのをキッカケに今後民間でも大いに外交官の古手を迎ふるやうになつてほしいものだ

天氣豫報

殘滯なる低氣壓發生せし爲め鮮の天候時發雨生し中部以北の西岸は東風吹き行せり前記低氣壓は徐々として東方に向ふべき……

全鮮の逐鹿界

平壤

平壤に於る府協議員選擧運動は既報の如く革新會の猛烈なる運動振と其候補者の顔觸とに依り商業會議所を中心とせる舊公正會側は冷笑的か但しは自棄か頃日來沈默を守つて只革新會の行動を注視しつゝありしが十三日革新會の有權者大會の盛況を觀且は同日平壤の元老有志と府尹との會見の状況を聞き大に憤激し此際舊公正會は一切候補者を出さゞることにしては如何との議論云ふとなく市内に傳へられ有志今回の選擧は須らく革新會の横暴に任ぜ出馬せざることに決したるも現商業會議所評議員中の丸山理平及在間行太の二氏は大いに革新會と中原に鹿を爭ふべしとて目下運動中寄々集議し今回の選擧は革新會の横暴に任すべく隱つて舊公正會派よりは一人の公認候補者を出さゞることに決したるが盛に運動中なり

平壤府尹彈劾の聲高し
府尹と有志との會見

平壤府尹楠野俊成氏は十三日午後一時より府廳樓上に於て平壤の元老宮川、松井其他現府協議員諸氏と會見し府協議員選擧問題につき論議するところありたり當日府尹は府協議員選擧候補者を內地人十名鮮人十名即ち內鮮人融和の見地より各半數宛に定め置いて選擧運動せしめては如何と陳べたるところ宮川、松井、原田の三氏は之に反對し尚府尹は地方行政官として平壤府尹の原職にありながら今日迄革新會の團體的横暴を看過し且各種問題の續發せるに不拘これを放任して平壤の平和を紛亂せしめつゝあるは府尹として職責の如何と質問し相方激論をなしたりと傳へらるこれに關し平壤の某有志會頭連は十四日喜樂に會し革新會今日の行動に對しては平壤府尹も又其責を負擔せざるべからず府尹の職は平壤の市長たり一地方の牧民官たり然るに府內に斯の如き政治的横暴の演ぜらるゝに拘はらず之を放任し今日の時局收拾する能はざるに至らしめたるは前述の如く府尹の責任を問はざるべからず平壤府內の平和と秩序維持せられず團體の力に依りて如何なる專横も爲し得るものと云ふとになれば府の行政なるもの如何なる効果ありと云ひ得べきか吾人平壤の有志は此際平壤府尹を彈劾し今日の惡氣を一掃することに努力すべく不日有志演說會を開催すべしと述べたり（平壤）

兼二浦　自重か無自覺か

選擧戰は更に壁なかりし兼二浦選擧戰は其の後引續き各候補者を持して放たず形勢觀望に努め居たるが頃來漸く期日切迫すると共に頓に野心家續出し稍混戰の氣味を呈せり然して目下公然名乘を揚げて運動に着手せる向きは入江、丸田、井原、市川、村田、楠目、大橋等なるが僅々二百六名の有權者に對して更に風發的に榮冠を獲んと暗中飛躍をなしつゝある者に岡、竹中、土佐野、水落、待鳥、野本、北林等の響を並べて宣傳に努めつゝある等殆ど定員の二倍に達する候補數なる爲か漸く白熱化せり（兼二浦）

鎭南浦　巷說紛々兎角陣容整はず

混沌として各候補者の策戰更に振はざりし南浦選擧形勢は漸く期日切迫すると共に內鮮人共に旗幟稍歷然となれるが西崎、富田兩元老の起否今日迄確定せざるは一般的局面展開の暗に於る變動を豫想され馬場嘉藏氏の辭意を洩らせるにも拘はらず確定的發表を見ざる等に因り一層混沌狀態にあるが如し數日前迄極めて冷靜の態度を持して疑惑をさへ加へられ居たる鮮人側の形勢頃日來頓に色めき立ちて案外の立候補者あるが如く猛烈なる運動に着手し鎬を削りつゝあり而して目下各候補者の陣容は舊友會を根據とせる原田鐵策氏土木組合水產業者系の後援を頼みとせる五島豐藏氏は目下旅行中なれ共歸來の上は相當の優勢振りを見するならん其他佐賀縣人會の直塚保三氏岡山縣人の結束に依つて起てる鳥越久則氏戰機を待つて疾風迅雷的に一擧に勝を占めんとする鈴木稀一氏平和會を本據として盛んに各方面に熾烈なる運動を行ひつゝあり服部角二氏等は表面形勢を唱ひ居れるも目下の所にては高點の部に屬する者の如し此の他富田氏の起否が其死活問題たる野田良二氏在鄉軍人會を後援とせる岩本道太郎氏五島氏の蹶起に依つて大打擊を蒙り居れる松田豐三氏等愈運動猛烈の度を加へ接戰の狀況白兵戰を想はしむるも目下の處入り鮮人側は旗色未だ判然せざるも孝健、林祐敬、宋炳洵、魯起元、朴起俊等の元老候補を並べて出陣し更に張瑞芝、權正敏等の新人物の名乘を擧げたるは或は內地人側の得票にも多少の影響あらんか益々揚げたるもの共に樂觀を禁ぜざるものなり（鎭南浦）

鳳山郡　黃海道鳳山郡內

鳳山郡面協議員選擧は沙里院を第一として去十一日より開始せるが沙里院に於ける一般選擧狀況は內地人側の態度兎角世人の期待を裏切り四十一名の有權者中投票を行ひたるは僅に三名に過ぎず他は悉く棄權するに至れる爲め却つて鮮人側より有資格者の無自覺加減を嘲笑され居れる傾きあり（平壤）

群山　に於る府協議會員

選擧形勢は選擧期日切迫と共に秘密裡の運動激烈なるものあるが堂々候補宣言を爲したるは商議副會頭赤松繁夫氏唯一人なるも左記諸氏は立候補と疑ひなきもの如く其外戶塚總太郎、清水喜作、石田德太郎、谷口伊太郎、西村又三郎、牛尾三一、松前喜九郎、金洪斗、車相根の諸氏最も有望なる立候補者とすべく運動しつゝあり是等を加へ數ふる時は二十餘名の立候補者となり定員十二名に對する倍數以上に達し猛烈なる爭奪戰を演出すべき形勢なり

立候補者氏名　池田貞亮、中山虎丸、森菊五郎、光富嘉八、森田重興、磯部讓、大澤藤十郎、松本市五郎、中柴萬吉、赤松繁夫、大倉米吉、樋口虎三、河野裕一、堺田吉次、長田鐵治、花岡龜松、平松彌之助、遠田龍猿

石塚總裁來安　滿洲各地

東拓總裁石塚氏は十五日五龍背に來り一泊翌十六日安東縣に來り在住有志と意見の交換をせり（安東縣）

朝郵披露宴

朝鮮郵船株式會社は今回遞信省の命令航路として朝鮮西海岸線航路を開始するに至りたるを以て其取締役松崎時勉氏は十五日午後六時より群山官民有志を招待し盛大なる披露宴を張りたるが十四日は前日入港せる群山丸を一般市民に觀覽せしめたり（群山）

筏は停滯

林營林廠業務課長丸山佐四郎氏は去九月二十一日新義州出發去る九日歸任したるが上流方面の狀況に就き語つて曰く　上流國境方面の人心は一概に動搖し且つ危險性を帶び居るものとは言い難きも一度不逞鮮人の襲擊を受けたる鮮人の人心は非常に動搖し漢谷に面日の正午頃何名の不逞鮮人闖入し來り同人を脅迫して現金約四十圓を強奪して逃走したる事件ありこの凶報南社水一帶に傳はるや同地鮮人の人心は非常に動搖し……るたる時余は鮮語を充分に話せざるを以て同行の鮮人をして交涉せしむる間余は疲勞を醫する爲め休憩せんと思ひ窓を排したるに房には數人の鮮人あり大……は鮮人巡査某の實家にして同鮮人巡査は常に對岸支那地に出入して不逞鮮人の巢窟を偵知するより何時不逞漢の來襲ある計り難きや爲豫期し難……狗々たる折柄さて翔つて余等は不……は水深一尺四五寸に減水し現在の下航困難なる爲め一々積荷を卸して空舟を以て下航せしめ更に荷物を……五十枚、會社個人のもの五十枚に達すべし、高山鎭以下の筏……或は全部の流筏を見る事あら……

○平井一部長出張　平安南道平井第一部長は黃海道米穀檢查所鎭南浦出張所設置問題に關し去る十四日鎭南浦に出張したるが同日正午玉屋に於て官民有志と會見同問題に關して打合を爲し更に新水源地等視察同……

……日午前十時より群山座を會場……催したり來……長の……報告あ……

……に申し出たるが……意味を以て……ふ因に同氏退院は十六日歸任せり（仁川）

羅災民救濟策　土工を起す

慶北道內漆谷、星州及高靈其他地方今夏の水害に際し地方民救濟に就いては道當局に於ても頗る苦心し農家副業の獎勵を爲すと共に土木工事を興す等殆ど到らざる處なく廣く義捐金を募りて之が配布をなせるも災害地の慘狀未だ全く除却されず羅災民の窮狀見るに耐へざるものあるを以て道は一面是等災害地救濟法とし一面道交通整備の爲め大破損せる水害地道路の復舊工事に着手せんとして國庫補助金五萬五千圓を得尚ほ一圓に對する五錢の地方費增徵と廿二錢の戶稅增徵を行ひて十五萬圓弱の經費を捻出し之が復舊工事に着手することゝなりたりと（大邱）

安東銀行閉鎖　十四日限り

滿洲商業銀行に合併すべき安東銀行は其後引繼ぎ事務進捗したるも奥地の各支店を合併するに就ては關東廳の認可を要するを以て認可に多少の時日を要すべく一切の手續きを終了するまでには多少の時日を要すべし然し双方銀行の本店を何日までも別々になし置く能はざれば安東銀行の本店は去る十四日限り閉鎖し十五日より安東銀行の業務は滿洲商業銀行內に於て執る事となりたり（安東縣）

酒類品評會　褒賞授與式

大同郡廳に於て十四日擧行されたる大同郡第一回酒類品評會褒賞授與式は會長朴基錫氏の式辭に從つて開始され次いで審查長黛右馬次氏の審查報告あり入選者三十名に對し褒賞の授與あり李參與官の知事告示代讀山下事務長及其他數氏の祝辭に對し出品人總代の答辭あり終つて立食の饗應に移りたるが參列者二百餘名頗る盛況裡に閉會せり（平壤）

安東物價調節　實行を期す

安東縣有志の組織にかゝる懇話會は十一月例會を十四日午後一時より五龍背溫泉に於て開催來會者十六名あり安東縣の物價調節の件に關し意見の交換をなし五名の調查員を擧げ實行を期する事となり午後四時五十分安東着の汽車にて歸安したり（安東縣）

滿蒙毛織業績

滿蒙毛織株式會社株主總會は來る廿五日午前十時より保險協會に於て開催せらるゝ筈なるが今期に於ける總收益高は前期に對比し多少增加せるも一般社會的不況狀態の影響は營業費の增加と生產品價格の低落を來し生產の增加せる割合に收益を見ざれば從つて今期の利益金は前期の七萬七千五百三十九圓餘に對比して甚だしき增減を見ずと云へば株主配當率も前期同樣六分据置きならんと（東京支局）

大邱客月貿易　八十萬餘圓

十月中に於ける大邱稅關出張所を經たる輸移出入貿易額は輸移出二萬三千七百九十五圓輸移入五十八萬三千三百五十九圓合計八十萬六千百五十四圓にして之を昨年同月のそれに比すれば輸移出約十萬圓、輸移入六十八萬七千圓を何れも減退せり輸移出に於ては穀類に約九萬圓其他の雜品に於て一萬餘圓を減じ輸移入にありては綿絲布、金巾類約五十萬圓其他雜貨類約十萬餘圓を減退せるに依るものなり（大邱）

入營報告祭　安東縣にて

大正九年度の徵兵檢查に於ける合格者は十四名にて內現在安東に在住するものは八名なるが去る十三日午後二時より安東在鄉軍人分會の主催にて入營報告祭を執行し同時に武運長久の祈禱を行ひ終つて分會事務所に於て送別の意味を兼ねたる祝宴を擧けたり（安東縣）

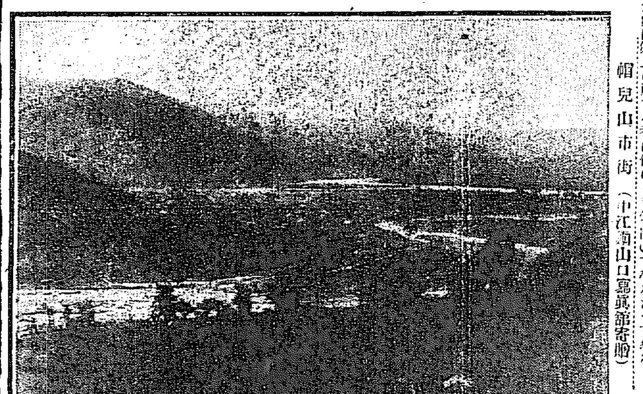
國境寫眞通信
臨江縣下の朝鮮人（上）　彼等移住の動機
韓堂生

臨江縣々知事衙門所在地帽兒山は慈城郡中江鎭の對岸で郵便局、電信局、稅關、國民學校、巡防隊、巡警局、監獄、採木公司分局、商務會、銀行、中江鎭普通學校分校等があり其の人口は二萬といひ或は三萬といひ鴨綠江全流域中日支兩國を通うして安東縣に次ぐ大都會である。此の地は中流並に上流地方に於ける商業の中心點であつて上流より下流に下る雜穀類は悉く此の地を中心として動き下流より上流に向ふ物貨食料品等は全部此の地を中心として取引される。市街は大廈櫛比して商業盛んに、埠頭は帆檣林立してそぞろ帽兒山の繁榮を偲ばしむるものがある。帽兒山に於ける在住朝鮮人の數は僅か二十四戶五十五名に過ぎず支那人二萬……三萬と云ふ多數の內にあつては其の影だに認むる事が出來ぬ。長白縣長白府に於ける鮮支人の狀態に比ぶれば殆んど比較にならぬ少數である。二十四戶の內十戶許りは問屋を兼ねた雜貨屋で他は木材の仲買人參の仲買商又は勞働者であつて其の數の少きだけ勞力も徹底て問題も少く、朝鮮人組合の設けもない。

併しながら其の臨江縣下には可なり多くの朝鮮人が居る。支那官憲の調查によれば縣下の鮮人總戶數は二千三百五十五戶、男七千二百十名、女三千七百二十名合計一萬九百三十名であるさうな。各方面の調查を綜合すれば彼等國境外移住の動機は大凡左の如くである。

一、極度に貧困なる爲對岸に渡り支那人地主に縋りて未開地の開墾を爲し其の小作人となりたる者
二、朝鮮內の發展に伴れ自然鮮外移住の已むなきに至りたる者
三、支那人地主又は移住鮮人の招きに應じ移住せる者
四、保護條約以來日本の施設を喜ばず對岸に走りたる者（少數）
五、併合後舊韓國政府時代の官吏にして首陽山に隱れたるが如き心持を以て移住せる者
六、兇狀持ちが逮捕を免れる爲逃走せる者

等であるが第一に屬する者が一番多く其の出身別を聞くに地理上の關係から平北を以て第一とし慶尙道の順序である。他は數字の順序であるが第四第五に屬する者は何れも少數の財產を有し且日に文字ある所から有力者と目せられ稍々勢威を有して居るさうである。



帽兒山市街（中江鎭山口寫眞館寄贈）

電話の呼出は券番と料理屋が一番多い
米は下落ても悲觀はされぬ　大邱電話の使用狀況

大邱電話局の開始は明治三十九年で當時の加入者は百一名であつたが爾來當地の諸般發展は著しく從つて之れが申込數は漸次增加を示し現在では六百七十名なるが未設加入申込者三百五十餘名に上つて居る即ち一千名に近い數字を現はして居るが今是等既設加入者の使用狀況から見ると一日平均の呼出數八千二百十四回中で最も回數の多いのは券番の百四十回、料亭大和の百廿五回次ぎは大邱……の百九回と云ふ順序である、そして一日に於る一加入者平均呼出數は十三回四を示し一日中最も閑散の時は午前三時から同七時迄で約二十回最も多忙の時は正午から午後一時迄で其の呼出數が實に八百三十回以上と記されて居る當市外電話中で多忙なのは釜山の一日十九回、金泉の十回、であるが其の他は皆それ以下を示して居る之に依つて見ると世界は不況だと悲觀されても券番や料理屋が其の頭となつて居るのは奇なものだ（大邱）

羅災者救助金

去る十一月十日午前二時半安東縣四番通七丁目四番地鄭潤玉方より出火九戶を全燒したる內六戶は朝鮮人家屋なりしが山岸洋服店職工洪德濟（三一）同人妻韓順月（三七）の兩人は不幸燒死したるを以て安東縣朝鮮人組合に於ては取敢ず罹災者の葬送をなしたるも尙被害者六戶に對し慰藉の意を表すべく救助金募集中の處十五日まで約百圓の應募ありたるを以て更に今後の同情金を合せ被害者に夫々配付すべく配付の方法は朝鮮人組合と安東警務署と協議の上適當に分配すべしと云ふ內地人同情者も相當の救助費を寄贈するものは喜んで之を受納すべしと（安東縣）

海州の選擧戰　內地人側は混戰中

海州に於ける面協議員候補として馬を陣頭に進めつゝあるものは內地人側にありては萬代龍助、武藤哲、西村守三、鈴木平四郎、清水房吉、蟻末治右衛門の六氏にして目下の處其の勢力互角の狀態に在りて混戰中なり鮮人側は吳致根、崔昌煥、莊明……等の有力者間に候補者の協議ある趣きなるも纏まらず結局四五日內には立候補者を決定し結束して起つならむとの風評高し（海州）

營口より

▲關東廳長官山縣伊三郎氏は藤秘書官、稻葉警務官、湯淺鐵上秘書役等同伴にて去る十一日營口着三浦領事代理は管內出張の途次一行と同車、行政委員會議長林氏は大石橋まで出迎へ驛には地方有志の出迎へありたり
▲獨立守備隊司令官尾藤知氏は十一日營口守備隊を檢閱し同夜一泊十二日大石橋守備隊を檢閱瓦房店に向ひたり
▲十一日夜三浦領事及赫副領事は來營中の山縣長官の爲め晚餐會を催す三浦領事代理は來賓を代表して領事館に官民を會し挨拶に次いで長官の謝辭ありて盛會なりき

大東同志會創立披露宴

內鮮人の思想向上を目的として內鮮同化を以て終局の希望と爲せる大東同志會の創立披露宴は十三日午後七時より江岸通り又幸館に於て開催されたるが平壤在住の內鮮人約二百餘名同樓上の大廣間にて朝鮮式の祝宴を開き司會者長鮮干爀氏起つて世界の大勢より東亞民族の孤立に均しき狀況にあるを慨嘆し內鮮融和せざるに於ては鮮民族の苦痛を益々大ならしめ延いては最も憂ふ可き事態の實現に陷らざるなきを保し難きものなり宜しく思想向上……

仁川野球大會　十一對五　米軍大捷

米軍對美加登は美加登先攻米軍守備……第一回美加登は……第二回……（以下戰況）……津江……鍋島……兒玉……三振……四球……犧牲打……ショートゴロ……フライ……（美）……（米）……

圖解 裁縫 直ぐ上手になる 道しるべ

▲縫方裁方、積方其他一切の極意を網羅す
▲嫁に行て赤い顔をせぬ樣に
是非共習はねばならぬ事がある隨分容姿よき婦人でも肝腎の糸針の道を知らずして思はぬ恥を搔いたり離緣されたり悲しく悲慘の憂目に遇ふ婦女は世間に往々有ります御注意
▲本書は衣服一般の縫方裁方積り方は勿論男女洋服袴コート其他整理法保存法一切を針の持方さへ知らぬ者にも手を取つて指導する如く其筋道より順序を追ふて言文一致總ふり假名附で一々實例を示して詳述したものですから如何な不器用の者でも直ぐに上手になること請合
▲本書は總版二百五十頁の大冊にて
▲定價 金壹圓五十錢（送料共）
▲申込方法 葉書に住所姓名を記入し大完社へ御申込下さい
東京市神田區保町通 大完社書店

特許日用品大擴張 ……九州……大榮社

建築業成功急
▲今や建築技手大缺乏
何人も僅か一ヶ年の短期で本會の講義錄を習得すれば建築業全般の奥儀を極めて建築業得士
東京市九段坂上 帝國工業敎育會

天下一品 精米麥機
本機は運轉輕快、精白迅速、婦人子供にて作業容易 御申込次第說明書送呈
大阪市北區上福島一丁目 砂川製作所

專賣 ゴム底靴 總ゴム靴
御召工合よくカルク耐久力革底靴の五倍 靴一代修理を要せず
實用靴の宣傳
⊕完備ゴム底 ⊕上ボックス製 短靴五圓、六圓 編上七圓、八圓
⊕新式 半長十二圓 本長十四圓 ⊕防水入長靴
⊕代金引替に限り一圓前納の事
⊕御註文は必ず足袋文數御記入を乞ふ
ゴム底靴元祖 卸小賣（優良靴續々）（定價表進呈）
東京日本橋區新大坂町電車通り 田中東京製靴所
⊕印と御注意 振替東京三五七〇四

失明より救ひ得た例のある名譽の目藥
ズ痛まず偽か眞か 試よ各藥店にあり 壹壜廿錢
東京京橋 吉永製

レール及鐵道用材料直輸入商
チルド車輪 スチールタイヤー 鑄鋼車輪 各寸法在庫豐富
鐵道省指定工場 桑原鐵工株式會社一手販賣
レール及機械商 鈴木機械商店
東京市京橋區銀座一丁目二十一番地 電話京橋特長二七〇六番二七一六番
米國紐育出張所 80 Pine St., New York U. S. A.

わた 蚊帳 蒲團
製品代理店（比較ハ最良ノ撰擇法）
京城黃金町二丁目 西川綿店
電二七七八番 振替京城八三五一番
▲熟練ノ綿入職人差出シ候
地方御注文定價表差シ送リ候
中シン無特製品

朝鮮　大正九年十一月號

一部定價金一圓七錢（郵稅金二錢）　賣捌所 內地各地書店

◎目次◎
○口繪 朝鮮人敎員第一回內地視察團、高麗村の風光
○朝鮮の水產業……岡崎水產課長
○在鮮外國宣敎師と我……柴田學務局長
○經濟生活の進化……森本法學博士
○初めて內地を觀て……視察團中の女敎員
○本年の朝鮮蠶業……篠原農務課長
○石炭問題と粉末炭燃燒法……牧山商工課技師
○高麗村を訪ふ……萩原參事官
○住宅改善（上）……鳥井營繕課技師
○市場史料管見……小田編輯課長
○海流と民族移住の關係……大原利武
○朝鮮の淡水魚類に就ての考察……土居寬暢
○驅蟲植物一般……別宮元
○閔泳殷氏の造林事業……山林栗
○內地視察……林洪城郡守
○獻穀畓に就て……勸業模範場技師 向坂幾三郎
○京城近郊の春と秋……杉本生
雜林詞壇
○附錄 朝鮮人敎員視察團一行、朝鮮人女敎員內地視察狀況、北支學事視察團一行寫眞、汽車時刻表、汽車賃金表、朝鮮私設鐵道營業哩程表、自動車運轉路線及賃金表

資本金六百萬圓（明治三十八年設立）
當銀行ハ預金、貸金、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
株式會社 漢城銀行
京城府南大門通二丁目十四番地
頭取 男爵 李　專務取締役　支配人
電話 長六〇〇、二〇〇一　振替口座京城二一〇五番
支店所在地 水原、平壤、東大門、大田、開城、南大門、釜山
出張所所在地 東萊、平壤大和町、西大門

たんせき ぜんそく には すぐきく 服みよくて 類なき 立効丸（リツカウグワン）
流感の咳 咽喉加答兒 氣管支加答兒の咳 喘息にてヒイ〳〵息切れする人 夜中咳出で睡れぬ人 音聲潰れたる人 其他一般咳に 息切せず 運動家 聲樂家は咽喉を潤ほし美聲を發す
定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 二圓
東京下谷池之端仲町廿七 寶丹本舖 守田治兵衛 電話下谷四五三九 振替東京一二八五
各地有名藥店にあり

北支饑饉慘狀(四) 外務省調査

旱災區域 直隸、山東、山西、河南、陝西の五省に亙り約九萬方里、災民の數は三千萬乃至四千萬人に亙る

救濟計劃 中央より應急救助金の支出、救濟機關の設立、鐵道運賃及電報料の特徵、救濟借款と關稅增徵計畫、起工代賑計畫支那人の救濟團にても二十に垂んとすと雖も多くは宣傳のみ大にして實行未だ之に伴はざる觀あり、現品供給は目下の急務

民間側救濟計畫

▲華洋義賑會 本部を上海に設け唐紹儀、朱葆三、傅筱庵等同地有力者二十餘名の發企にして差當り五十萬元の義捐金を募り救濟資金に充つることの由なり

▲北五省災區救濟會 本部を北京に設け會長趙爾巽、副會長熊希齡汪大燮にして袁廷幹主として衝に當り廣く國內及國外の慈善團體各法人團體と聯合して五省の旱災救濟に從事す而して差當りの救濟方法としては募集せる義捐金を臨時中國銀行、交通銀行及其他の外國銀行に委託し適宜に之を處置することとし又一面には義捐金を以て穀物を調達し之を各地に於て販賣施與することとし尚ほ被害の詳況調査を經て聯合に依賴して救濟の標準と爲す由なり

▲華北華洋義賑會 本部を天津に設く逸守時主宰の直隸義賑會之に合併す會長梁如浩、副會長在天津米國總領事、倫敦教會牧師、直隸省議會長、商務總會總理の四名にして各國人を網羅する協同の團體なり救濟資金は之を廣く內外に募りつゝあり而して一面には救濟金寄附者には同會より金と引換に左の通り『メダル』を贈ることとせり

十弗寄附者 銅製メダル
百弗寄附者 銀製メダル
千弗寄附者 金製メダル

▲華北救濟協會 親米派の領袖梁士詒が主宰するものにして本部を北京に設く最も早く救濟計畫に着手せるものなり但し親米派たる梁氏が米國を後援として立ちたるものなれば或は梁が政治的に之を利用するものにあらずやと臆測する向も少からず

▲國際實行救濟委員會 日英米佛公使を後援とする各國人協同の團體にして本部を北京に置き會長は英國人『ドクトル、グレー』にして四國か協同的に救濟を實行せむとするに在り『スタンダード』石油會社、三菱、三井其他支那各地に代理店を有する大會社、商店代表者をして廣く寄附金の募集に當らしめ救濟分配の實際方法手段並展の爲め特別委員會を設け各國所屬救濟團體よりは隨時本會に報告を爲さしめて參考に供することとし各外國銀行代表者には國際實行委員會に對する專門的財政顧問委員會を組織せしむることとし又東方各殖民地に對しては本年春より翌年收穫期迄の間に食物、金錢、寄附を申込むこと

▲國際統一救濟總會 支那各地救濟團體の統一を期し常に北京政府の要路と聯絡を保ち以て救濟の大綱を定むるを目的とし各支那人團體の代表者二名つゝ及各國團體の委員二名つゝを網羅して會員とし本部を北京に置く

▲北支那災民救恤會 本部を天津に設け日本行政委員主宰する團體なり

右の外支那人の救濟團體のみにても既に二十に垂んとし之に各國人の組織するものを加ふるときは少からざる數に達すべく本邦內地に於ても最近に至り或は寄附を募り或は慈善興業を發起せし團體等續出する傾向あり殊に最初より米國側の活動は最も花々敷喧傳さる既に寄附額の決定せる各國側の主なるものは下の如し

金二千圓 神戸日支實業協會
金五十萬弗 米國赤十字社
銀二萬五千元 スタンダード石油會社
銀十萬元 香港英國人
金一千圓 天津日本駐屯軍司令官
金一千圓 天津船津領事

尚ほ又各地に大工事を起し多數の災民を使役し以て饑餓を救濟せむとする所謂『以工代賑』の議を提唱する向きも少からず現にこれが實行に着手し或は計劃中に係るものは左の如し

▲煙濰間自働車道路の開設 北京交通部より鐵道收入の一部を暫時隊道交辨することゝし其工程は山東省芝罘より濰縣に至る間にして近々工事開始の筈なり

▲滄石鐵道の土工開始 直隸省滄州より石家莊に至る鐵道を開始するものにして逸省議會議長の提案に係り已に北京にては之が工事に着手すべく內定せりと云ふ

▲京綏鐵道の未了工事の完成計畫 現に開通せる北京より大同迄の線路を綏遠城まで延長せむとするものにして其費用は公債募集に依る

▲山東省運河工事の進捗 『シームスカレー』會社關係の德州黃河間運河工事を進捗せむとするものにして米國側に於て之が企劃なりと傳へらるゝも未だ具體的計劃に就き聞かず

▲山東省七縣に跨る河岸の堤防工事 山東省の臨清、德縣、陵縣、平、茌河、平原、館陶の七縣に跨る河岸の堤防工事を起さむとする計劃にて臨清の基督教牧師米人『マンテー』なる者之を引受け奔走中なりと云ふ

目下のところにては各救濟團體の多くは計劃中に屬し或は徒らに其の聲のみ大にして未だ實行之に伴なはざるが爲に各地災民困苦の度は日に增し高まり一日も早く應急的救濟の實行を翹望し居りされば各地に河川鐵道等の大工事を起し或は工場を設けて饑民を使役救濟することは面白からむも應急策としては此品を供給して饑民を救ふか現今の急務なる歟、而して之が救濟費は饑民の概數を四千萬人一人救濟費五弗と見積るも約二億弗を要すべし(完)

中樞院參議一行入京

內地視察の爲め朝鮮中樞院參議劉猛氏等一行は十三日午後零時五十分東京驛着列車にて來京せり▲前列右より二番目、中央黒外套が劉氏▲

家庭と婦人
小兒の營養に就て(二)
總督府醫院長醫學博士 志賀潔氏談

元來日本では父親の遺產は長男に母親の私有財產は其の子供に平等に分配することになつて居るか歐羅巴では誰にでも分けられることになつて居る。隨つて親類の金持に病人でもあると早く死んで貰つた方が宜い、然うすれば、

俺に遺產が

轉がり込んで來るこいふやうな胸算をしながら看病するこいふやうなこともある私が二度目に獨逸に往つた時に居た下宿屋に大學教授の未亡人が同宿して居たが其人は立派に獨人もの子供があるに拘はらず皆夫々別居して自分はタッタ一人で下宿住居をして居た吾々日本人の考へから謂ふと如何にも孤獨の無聊に堪へまいと思はれる。けれども御當人は一向平氣なものであつた。即ち

歐羅巴では

自分の遺產は其家族のみならず其の親戚に迄分けてやることになつて居る爲に子供が餘り多過ぎては困る。私が最初往つたのは明治三十四年であつたが、當時獨逸邊りで百萬馬克の財產家と謂へば可成り富豪の部に入るべきものであつた。毎晚オペラへ定席を取つて置いて見物するといふ風に非常に贅澤な生活をして居た。夫か二度目に往つた時には煞じ百萬位の金持ば却つて

一番に困る

階級だこ謂つて居た夫は物價が段々高くなつた爲に富豪だこいふやうな大きな顏をして居るこさが今迄の關係上出來ぬ。こ謂ふて今更夫以下の中流階級に仲間入りも出來ぬこいふやうな譯であつた。私の知つて居る大學教授の娘さんなごは毎日朝起きるこ食事をする夫れから直ぐお化粧、夫れは只今で謂ふ美顏術こか美容術こかいふ所に往つて御化粧をして家に歸る夫れから

晝食を了る

こ今度は散歩次ぎは歸るこ夜會のお仕度、其夜會に往くにも先方の部屋の工合、壁紙の色合等に依つて衣服の色合配合しなければならぬこいふ譯で却々大變だ從つて富豪こいふ面を保つて往くには百萬や其處らでは追付かない何にしても戰前五十錢もした馬克相場が今は四錢か五錢こいふ十分の一になつて居るのであるから此の位の階級の金持が一番苦しいこいふこと、なつた。

皇后陛下神宮御參拜

皇后陛下には十五日午前九時三十分御出門明治神宮に御參拜遊ばされたるが神宮內に於て昭憲皇太后が屢々御釣魚遊ばされたる個所にて御釣魚あり午後四時還啓遊ばされたり(東京電報)

女學校を卒業して直ぐ判任官に
遞信省で開かれた婦人優遇の途

年こ共に婦人の職業が益々殖ね同時に婦人の就職口が段々多くなつて來た、遞信省を始め鐵道省內務省は雇員の三分の一は婦人が採用されてゐる、女學校卒業生から專門學校出身こ其の數も少くないが

文官任用令

に依るこ女學校卒業者こ雖も判任官に採用の資格なく從つて婦人に官途の開放せよこの聲は高くなつて來た矢先き遞信省では現代の情況に應じ他官廳に先立ち愈々婦人の學力を認め男子同樣に認むる事こなつた、他官省に於ても之が均衡上改正の意を高くして居る、右に就て遞信省當局は語る『今日まで當省こしては明治二十八年の省令に依つて中學三年修了以上のものは規定に依つて二ヶ年の

雇員勤務が

なくこも判任官に採用して來たのだが女子は女學校以上の學歷があつても之を認むる事が出來なかつたのであるが男子は中學三年を修了すれば判任官の資格が有りながら女子はそれ以上の資格あるから女子は女學校卒業生であつても二ヶ年以上雇員こして勤續しなければ判任官の資格を與へないのは均衡の取れない事で今回改正して愈々實施を見る事にした次第であつて貯金局の如き千五百人の女子中少くこも一割は女卒があり其他にも可成り

女學校卒業

のものは就職して居るそれを判任官に引上げ同時に各局の增員につれ女學校卒業のものから判任官こして大いに採用する考へである(東京)

李王職最後の馘首
內地人二十 鮮人六十三

昌德宮の靜寂を破つて小雀の囀く聲が漸く頻りなる頃新築された大造殿はきらびやかに輝いてゐる昨今、李王職の馘首問題はごんく進行して第一回第二回こなつて愈々十六日を以て雇傭員の解職が斷行され、人員は內地人二十名、鮮人六十三名等で各人共その年限に據つて六十圓以上六百圓以內の涙金を頂戴することゝなつた。以て李王家の馘首問題は一段落を告げた次第である

不逞漢現る
平南三部活動

武器を携帶せる四名の不逞鮮人平原郡漢川附近河岸より上陸したる形跡あり仍つて平南第三部にては逮捕の爲活動を開始したるが本月十四日安州郡立石里方面に現はれたる者こ同一ならむこ噂さる(平壤特電)

壯漢電車に轢き殺さる
運轉手の罪か將又被害者の不注意か

十五日午後九時二十分頃東大門發龍山行電車六四號が鐘路四丁目四十四番地先を進行中白衣の金町一丁目一〇八番地金致煥(二三)が前面を横切らんこしたので運轉手は直ちに非常ブレーキを掛けたが惰力に依つて同人を轢き倒し兩膝關節を切斷し人事不省に陷れた被害者は即刻總督府醫院に舁ぎ込み手當てを受けしめたが出血夥しく同十一時四十分頃死亡した▲被害場所は十三日府廳衛生人夫二人が負傷した處で同場所は何等かの缺陷或は因縁なきかこ種々云ひ觸らされてゐる尚ほ電車事故は被害者の過失に依るものが多いが一方運轉手の技術未熟の爲め斯の如き大慘事を惹起すに至る場合もある電車課でも充分技術に熟練した者をして運轉の

此頃の如く事故頻發しては

事に當らしめねばならぬは勿論であるが最近の如く電車事故殆ご毎日の如くに頻發するに至つては被害者の不注意をも亦大に戒めねばならぬこ某當局は語つた。

糠喜び?こなつた公設質屋
互ひに鎬を削つて爭つた當時の意氣込は何處へやら

京城府廳子は曰ふ『貧民救濟の目的で……』質屋業組合子は曰ふ『貧屋業組合子には缺陷がある……』商業會議所子は曰ふ『質屋業組合子には缺陷がある……』こ兎角の議論沸騰で公設質屋設置の目論見らしれた當時市民の一部では固唾を嚥んで事の成行きを如何を傍觀し內心大いに此の事業を

一日も早く

實現して欲しいものだこ希つたものだ、處が其の公設質屋も有名無實、現在では徒らにお役人商が素町人を尋かしたりヌカ喜びをさせた過去のこでの兒戯に均しかつた過去の僞識者からは疑惑を買ふこさへ疑しものがある、右に就き某有識者は此の公設質屋に對する態度を痛罵して『可々大笑』

頗る滑稽味

を帶びた苦笑を以て記者に語つてゐた『時勢の推移こ云ふものは總てのものの權威を超越してゐるものこ見える、御承知の通り公設質屋問題に對しては府廳も質屋業組合も双方共に極めて氣持のよい態度を示し互に一歩を讓らぬ武者振りを見せてゐたのだが財界の破綻こ云ふ聲にバッタリ沙汰止めこなつた

共々に屁古垂て了つた有樣は見るも無慘

なものだ世の中こ云ふものは實に不可思議なもので因果律は常に地球上を廻つてゐる、質屋が當年暴利を貪つてゐたものだが現在は貧乏をさへも極々無にして四苦八苦の有樣で一時沈物よりも高く買つた古着屋が御同樣、株を握つたものは御多分に洩れず夢よりも淡いこ嘆ち、呆れく\も人間はアブク

金儲けにこ

懸つたが最後いつかは背負投けを喰ふに定つてゐる、今に小資商人が此處を先途こ暴利を貪り二三割の利益を攫得してよいものを五割七割こ食つて居るこれも近く『タクパル』筈のものだが節柄公設質屋の立消わは殆んご笑ふ他はない』こ

珠算競技會期愈々迫る
二十日午後一時貯金管理所主催
前景氣湧く

既報した珠算競技會の開催は各方面から豫想外の歡迎をうけ主催者側は更に一段の意氣込を以て來るべき舞臺の設備に殆ご日も足らない努力をつくしてゐるこいふ十六日決定した其競技種目の如き種類十七の多きに上つてゐる其說明によるこ

競技種目

一、傳票獨算競技(制限四分)二、讀上算競技(制限三分)三、揭示立算競技(制限三分)四、暗算競技(制限四分)五、傳票獨算競技(制限三分)一こ同じ六、讀上算競技七、加減除乘競技(制限五分)八、傳票獨算競技(制限二分半)九、揭示算入競技(制限五分)十、揭示算入競技(制限四分)十一、傳票獨算競技(制限四分)十二、源平傳票獨算競技十三、傳票獨算競技(制限四分半)十四、讀上立算競技十五、揭示暗算競技(制限三分)十六、讀上算傳票混合競技(制限三分)十七、選手傳票獨算聯合競技(制限七分半)來賓は第五乃至第十第十三乃至第十五及第十七の各競技中其二種を撰みて之に參加することを得の如く內十種は來賓及部外參加希望者の競技種目で出場選手の申込み意外の多數に上り各委員は其の勸誘に苦心してゐるこいへば各方面を網羅せる出場選手の活躍は近來の見物であらう

疑問の遺留品
投身者の所持品か

十四日前漢江人道橋大橋上に朝鮮衣白の周衣一枚、黑羅紗中折帽子一個、白短靴一足外に古手帳一冊を遺留しあるを發見其筋にては覺悟の投身にはあらざるかこ下流を極力搜索しつゝあるも未だ屍體を發見せず或は罪狀を晦ます爲め投身を裝ひたるものならんこ云ふものあれて今猶判明せず

鶴田櫟村作品頒布會

今回の帝展に出品入選の榮冠を双肩に擔つた元本社員鶴田吾郎氏は左記篠崎潮二氏の手に據つて同氏の揮毫作品頒布會を組織した希望者は左記へ申込むこと

洋畫(風景肖像)八號 五十圓
半折 二十圓
紹介者 京城太平町一丁目二六 篠崎潮二宛

寫眞品評會

京城コダック會にては曩に第一回寫眞品評會を開催し非常に好評を博したるが今回更に其の第二回を來る二十八日より本町二丁目三之出給藥店樓上に開催する由因に同會は總督府文書課宮崎清治氏外數名の發起に係り市內各寫眞材料店之が後援こなり目下會員五十餘名に達し居れりこ

○いろは會淨瑠璃 十八日午後六時より西小門宇都宮氏宅にて開催語り物次の如し 朝顏(代志人)藤坂(一愛)本下(東)宮四(美水)御殿(錦忠)六(後部)日吉(一口)沼津(捌)王三(ん)

○列車食品定價貼付 朝鮮に於ては各驛立賣田店並に列車內販賣物品中辨當新聞煙草等定價の一定せるものを除き其他の物品には各品每に賣價表を貼付することゝし去る十五日より實施せるが一般旅客の利便勘からざるべし

關釜連絡船

釜山發 朝七、五〇 夕八、三〇
十八日 朝、壹岐丸 夕、高麗丸
十九日 朝、對馬丸 夕、新羅丸
二十日 朝、壹岐丸 夕、高麗丸

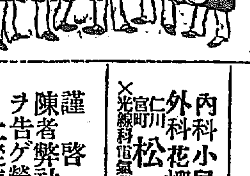
耶蘇教徒の秘密結社檢擧

耶蘇教長老派老經會に牧師こして出席し其際各地に耶蘇教青年會を組織し以て所期の目的を達せざるべからずこ說き而して一般信徒に傳道を組織せむとを約し歸鄉後各地に耶蘇教を布教する傳道[illegible]……組織に從事し會員一名より入會費一圓會費月額五十錢宛合計十九圓五十錢を出さしめ[illegible]

女子大學の表情體
日本で最初の新しい試み

五年[illegible]……してゐるが今年やうやく五年經過した二十一の薬、グリーン、アイリッシュ、ナップ、ロシア、カロニイ、秋[illegible]日本アルプスこ名づける各ダンスがありますので出演者は[illegible]非皆さんに見て頂きたう御座います、その他文科、白、理科赤に分れてのバスケットボール、小學部の遊戯競爭、幼稚園の花摘[illegible]此學校獨特の面白味と新しみのあるものです生徒は大學八百五十人女學校一千人小學校二百五十人幼稚園八十五人であります

驚く程キヽメのある 男女 れ小便 ◇小便近き人へ◇
今回發表の新興藥は大小人のね小便タレ又小便近き人を救濟する目的で驚く程効能ある醫治療法及新興藥品を世の不幸になく病者に限り秘密に分藥す希望者は今スグはがきで申込めば人知れず郵送す 東京牛込通寺町 內外藥物療法所

◎着荷御案內 △ピアノ・オルガン △樂隊用樂器 △蓄音器 (目錄進呈)

釘本樂器部 京城本町 振替六八四番 電話二二八三番

京日案內 番外

春川行賃貸車 發車所京城黃金町二丁目百十五 電話參八參 京江自動車商會

店員入用 拾五歲以上拾七歲迄 希望者至急來談要身元保證人 京城南大門外 電話一一九〇 齋藤商店

特許品販賣員入用 希望者八時 京城太平通二ノ三三九 電話七三九 小林商店

社員募集 本人來談アリ度シ 京城旭町二丁目七十八 橫濱生命保險會社朝鮮支店

百圓均一拾ヶ月賦貸 官吏商人何人にも壹口以上秘密迅速信用貸其他電話擔保低利貸 京城本町參丁目四六 大和屋質店

古本無比高價買入 ◎是非御試を◎御報早速參上 本町二丁目 電話參九五 群書堂書店

開店披露 洋食すき燒 廿錢均一 十八十九二十の三日間 永樂町二丁目 カフエースター

電話讓物有 京城黃金町二丁目 電話三四六四番 丸昌

店員入用 京城市內某洋服店に於て店員入用 身元確實なる保證人を要す希望者は履歷書御送附あれ 市內大島

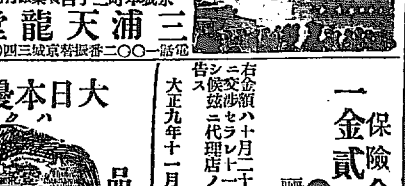
各種硝子 小野玻璃器製造所 京城林町百六十二番地 電話二七九一番 弊工場製品は品質本位こし朝鮮原料より製造せしものにて價格も低廉なり

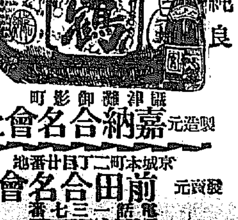
治淋內服劑
ゴノサルビン
ゴノサルビンは既に數年間治療界に於て其効力を確認せられたる治淋內服劑にして、白檀油の如き胃障害、腎臟刺戟等の副作用を有せざるを特長とす。
(適應症) 急性及慢性淋疾、女子尿道淋
[illegible]
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

摸造品續出す御注意
オキシパサー
定價金參拾九圓
血液の洗滌と體質の改造
虛弱者病者は一日も早く其苦惱を除かるべし
東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會
オキシパサー總代理店 龍山驛前 居森松次郎 電話九〇五番
取扱店 京城府黃金町一ノ六〇 松本商店 電話三〇六番
京城日報社代理部

謹啓 時下秋冷ノ候益々御多祥ノ段奉賀候陳者弊社建築材料部ハ業務ノ發展ニ伴ヒ從來店舖狹隘ヲ告ゲ營業上不便不尠候間本月十五日ヨリ左記ヘ移轉ノ上從前通リ建築材料ヲ販賣可仕候間倍舊ノ御眷顧ニ預リ度伏而奉希上候
左記
京城長谷川町百十六番地
內外興業株式會社 自動車部內
電話一五八四 三九番

內科小兒科 外科花柳病 仁川宮町 松本醫院 ×光線科 電氣科 電話三四五番

時計貴金屬指輪眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目實業銀行前 三浦天龍堂 電話二〇〇一番 振替京城三四〇番

大日本優等清酒 ハクツル
品質純良 衛生無害

製造元 灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田合名會社 電話一三七番 振替京城四二五番

保險金受領廣告
一金貳千圓也
右金額ハ十月二十四日火災ニ罹リ候所代理店ニ於テ迅速ニ本社ニ交渉セラレ十一月九日ヲ以テ全額金正ニ受領致シ候茲ニ代理店ノ親切同社ノ確實ナル事ヲ同社特約者諸君ニ報告ス
大正九年十一月九日
保險契約者 小山治太郎
共同火災保險株式會社 麗水代理店 蓮井藤吉
小山治太郎

遺骨を擁して
出迎の人々感激す
國境の露と消えし
徳本上等兵の遺骨着す

本月四日三道溝に於て不逞鮮人の一團と遭遇し奮戰力鬪の際負傷し後永眠せる徳本上等兵の遺骨は初年兵教育の爲め擢務より歸還の將校是を擁して十六日夜歸隊したり 是より先步兵第七十八聯隊にては堀田聯隊長以下將校、下士團兵卒等龍山驛プラットフォームに堵列し又在郷軍人會龍山分會は分會旗を先登に加藤分會長以下其の左翼に位置し又其の左翼には步兵第七十八聯隊の將校夫人團より寄贈の花環を將校夫人團何れも

白襟黑紋付 の姿しとやかに居並びて今や列車の來るを遲しと待ち受けたり午後六時四十分長蛇の如き列車は徐々としてプラットオームに入り停車するや、西本少尉指揮の下に兵卒は白布を以て包める遺骨の箱に黑き布の掩へるを恭しく捧げて下車するや聯隊長以下是に對して

敬禮を行ひ 夜寒さのプラットフオームを肅々として進み驛より漢江通を北に兵營に入りたるが四十日前迄互に睦まじく語らひし戰友の國の爲めに斃れ云ひながら白骨となりて歸れるを見て同年兵中在りし日の追憶と無量の感慨に堪へざるもの如くはず默涙を呑むもあり中には死して餘榮ある戰友の幸に感嘆し彼の

補充として 征途に上らむ事を祈るもありて龍山驛内の空氣は頓に緊張したり又旅客は脫帽して敬禮を行へるものも見受られたり徳本上等兵奮戰の狀況は別項の如くなるが歸還將校安尾中尉、西本少尉、藤本少尉、堀山少尉の四氏は途中迄出迎への記者に對し最近の琿春狀況に就いて交々語る

『一行が琿春を出發したのは本月七日であつた、先月二十六七日迄は小春日和が打續いて晝間は溫かつたが二十九日頃から急に峻烈な寒さが襲來して最低氣溫零下二十二度迄下つた、徳本上等兵負傷の日も非常の吹雪で咫尺を辨ぜぬ位でそれ以來路面は氷原の如く凍り普通の靴では兎もすれば辷べり轉ぶ事がある

馬賊も不逞の徒も今は三々伍々逃亡して琿春を中心に三十里以內の地には賊の片影さへ無く且つ集團と認むべきものもゐなくなつた徹底的に剿討の結果良民に對して非常な好感を與へたものらしく鮮內の不逞鮮人にも偉大の効果を與へたものと信ずる彼等は始めて日本軍の威力を見て日本に信賴するやうになつた底獨立など出來ぬものと斷念し日本に信賴するやうになつた事は誠に悅ぶべき事である』云々

大吹雪を冒して
上坂大隊の匪徒討伐
徳本上等兵は斯の如くにして名譽の戰死を遂げた
西本少尉は語る

十六日夜歸還の堀田聯隊最初の犠牲者徳本上等兵戰死の狀況を語るに先立ち當日の戰鬪概況を語らねばならぬ 上坂少佐は琿春河谷沿岸諸部隊に差遣した密偵等の報告並に隣接部隊の情報を綜合し不逞鮮人の一集團が三道溝附近に潛在せる事を偵知し四日上坂少佐は第十一中隊の一部と第七中隊の一小隊それに若干の傳騎を引率し午前七時宿營を出發した

當日は朝來から大吹雪で一變び風が殺到すると咫尺を辨ぜぬ位であつた午後三時三道溝に着いた時該地居住鮮人から三道溝奧に數日前五六十名の不逞鮮人が徘徊して居たと聞き同人及び他に一名の鮮人を嚮導として奧地に進入した午後五時步兵工兵の先頭に在つた井田少尉は開拓村北方約千米突路上に於て俄然前方約二十米突の鮮人二名を發見し直ちに同行の傳令に射擊を命じた此時鮮人は何事か大聲を放つて驚愕狼狽し背負及び劍を捨て西方雜林中に逃走し獨立家屋方向に大聲呼號しつゝあるのを認めた

步兵小隊は直ちに連結せる路面に散開しつゝ西方小高に達した時前方約三百の獨立家屋に約三十の鮮人が散開して射擊を開始した午後五時十分中隊主力の先頭に在つた寺尾大尉は部下一小隊を引率し尖兵少隊の左翼に進出した此時道路北方與地の危險を顧慮し石原上等兵以下二名を以て戒に任ぜしめ午後五時十二分下士を以て敵を逐次西方高地に退却したから直に第十二中の二小隊は敵彈を浴びつゝ二條の小流を徒涉し敵を猛射しつゝ前進した

工兵此時日は暮れ照準に困難を感じたが進二無二前進不逞團の退路を遮斷し且包圍する目的を以て退却方面の南北兩高地を占領せむべく殆んど斷崖に等しい急斜面を攀登せしめ上坂少佐は更に散兵線の中央に在つた第七中隊の澁谷小隊長を西方小隊の中央に散開せしめて退却する匪徒を猛射した匪徒は樹林中に巧みに逃走しつゝ向つて岩石等を利用し我澁谷小隊に向つて猛射を加へたが射擊は概して精巧で是が爲め躍進中の徳本上等兵は頭部に負傷し後入院數日にして永眠した次第である

匪徒は死屍三、武器彈藥等を遺棄し密林中に逃亡し恰も夜に入つた爲め是を全滅せしむる事の出來なかつたのを遺憾とする徳本上等兵始め負傷せる三名の如きも能く戰ひ能く追擊した敵の銃は何れも露國式で彈もよく我軍に命中した劍鞘、外套等も當時奮戰の狀を語るものであるから記念の爲め携帶して來た云々

齋藤總督一行
大邱の一日
教會や學校を一巡
隨行記 野崎眞三

既報の通り十五日夜總督一行は唯家旅館に於て大邱官民を招待して小宴を張れるが宴半ばにして卜部衛生課長の訃報傳へられたれば齋藤總督以下暗然と涙を呑み若うして逝ける卜部正一氏を哀悼せり更に警務局丸山事務官は氏と熟知の間柄だけに急電を手にして男泣に泣きながら今更哀悼に堪へざるものゝ如く十六日午前零時の北行列車にて歸城の途に就けり

十六日好晴、天に浮雲なく氣溫上昇し麗かなる小春日和なり。總督一行は自動車五臺に分乘して午前八時半旅館唯家出發稱南場達城公立普通學校を視察し

達城公園 に至り大邱神社に參拜、達城公園の林間を逍遙して南山町天主教々會を訪問せるが同教會は此賓客を迎ふべく日佛國旗を交叉して總督歡迎の意を表せり教會内の會堂にては緋の法衣美しき羅馬法王使節ピヨンダー氏と黑フロックコートに右腕を包んだ齋藤總督とは堅い握手を交して懇談を重ねやがて一同は

葡萄酒の 杯を高く捧げて總督の健康を祝福すれば瑞氣堂内に漲り日佛親交の歡喜溢るゝかくて總督はミッションスクールを視察し學生一同を校庭に集めて懇諭する處ありたるが宗教學校を背景として起てる白髮童顏の齋藤總督が宣教師と並び生徒らに相對する樣は正に一幅の畫圖を思はしめたり一行は更に

自動車を 驅つて啓聖俱樂部、梵魚寺布教所の講堂、德宗等を視察し大邱高等女學校にて生徒の授業を參觀し生徒らの手に作れるシュークリーム等の洋菓子に茶を喫して小憩の後、午後零時卅分大邱驛發踊頭堵の如き內鮮官民多數の見送りを受け歸城の途に就きたり

歸城す
總督無事

總督一行歸城の途次大邱よりの鐵道沿線は各驛共に出迎の官民多く成歡驛よりは千葉京畿道三部長、水原驛よりは赤池局長以下多數出迎へたり總督は前部列車に搭乘、折柄北上中の李崙湖保民會長、波多野一ノ宮高見山崎四代議士を引見して懇談に時を移し午後八時恙なく南大門驛着、內鮮官民多數の出迎を受けて一々丁寧なる會釋を返されつゝ用意の自動車にて官邸に歸邸せられたり南大門驛附近の警戒は相變らず嚴重を極め殿めしき警官のみ著るしく目に著ける程中總無事を極めたり

北滿の鼠疫
終熄漸く近し

一時猖獗を極めたる滿洲里の肺ペストは先年滿洲を襲ひたる如く南下して猛威を振ふに至るかと懸念されしも其後防疫方法宜しきを得て昨今は蔓延の兆なく漸く小康に安んずるに至れり又處疫赤痢等も殆んど終熄に近づきたるが膓窒扶斯のみ猶多少散發し居れりと

府協議員選擧の日が
目睫の間に迫つた
が氣勢は一向に揚らぬ
候補者の出馬も尠ない

京城府協議員選擧期も目睫の間に迫つたが第一回の更選期なるに候補者の出馬意外にも少數なるは一に鮮人側の有權者に改正地方行政の內容を熟知する者の尠きに依るものであらうと昨日午後七時より齋藤京城府尹は之が主旨宣傳の爲め鍾路小學校に於て一般鮮人の爲め講演會を開催したが會する者百數十人で何れも熱心に府尹の言々句々を謹聽したが只今回一回のみでは一般鮮人に亘り徹底的に諒解せしめるは難しとあつて傍聽中數十名の者は昨朝府廳に出頭『今一回の御講演を』と懇願して來たこころより府尹も大いに滿足の色を見せ然らば今十八日午後七時より鍾路靑年會館に於て再び府協議員選擧大宣傳の講演をしやうと承諾した。因に當日は內鮮人を問はず傍聽隨意だそうだ

服部事務官
退職說
後任は澤村事務官?

府協議員の選擧期が切迫し多忙な京城府廳も每日無き有樣であるが此のドサクサ紛れの中を京城府廳服部事務官が退職すると云ふ噂が立つた。確實な筋の所聞に依ると氏の後任は總督府事務官澤村荒次郎氏が就任するらしい。當の服部事務官を十七日朝府廳に訪ふといつにない晴れやかな顔付きで語る

『僕が退任する噂か?まあ邪魔かも知れないね、併し昨今は府議選擧で忙殺されてゐる折柄だから先づ退官としても來月だね、何?、何處へ?、最う此の年配で何處へ行くも無いさ、只內地へでも引上げて魚釣でもする迄の事だよ』と苦笑してゐたが氏は總督府は勿論府廳內に於ても一般から惜まれてゐる人である

入城せる四代議士 (向つて右より山崎、高見、波多野、一宮)

荒くれ四人男
ミ名乘る政友の四代議士
總督一行と乘合せて
車中の大氣焔

代議士波多野承五郎、山崎猛、一宮房次郎、高見之通の四氏は主として政治上の視察の爲め十六日午後八時南大門著入城せり途次恰も齋藤總督一行歸任の列車に同乘せるとて車中の酒氣張り盛んにメートルを揚げつゝ出迎の記者に對し四氏交々左の如く語る

『朝鮮々々と呼ぶのが已に好しくない』と冒頭して波多野氏曰く『韓國を朝鮮と改めた當時は頗る適當の名を命けたやうであるが其實頗る當を得なかつた、そもく朝鮮と云ふ名は半島の歷史上に最も有意義に一國の心臟に觸れた代名詞である。故に此の土著民が忘れやうとするも能はざる卽ち

舊觀念を 除くことが出來ないのである。隨つて諸會社銀行、組合其他一般商店名等に朝鮮の頭字を盛んに用ひて居る僕だ、朝鮮銀行、朝鮮殖產銀行、朝鮮何々等と無闇矢鱈に名を命けるのは考へものだ、斯うした名稱を永く存するは同化政策上の一障害である、然らば何と

改名しな ければならぬか 內地に東西南北海道に就き北陸道があるから朝鮮は京畿道又は西海道、半島道の一道名を命けるも妙ではないか、そして現在の十三道名を廢して所在地縣名のやうに改むるが適當である、言ふ迄もなく十三道は朝鮮名のやうに古い歷史を有つ

印象語で ある、縣名は例へば大邱縣、平壤縣、義州縣と言ふが如く附するのである須らく形式、代名詞等より改正せねばならぬ』と虹の如き大氣焔を吐く傍に居つた山崎氏は堪り兼ねた樣に『波多野君の說も賛成だが』と開口一番して『僕等一行の視察は純然たる政治視察で出來るだけ細くだけ內鮮人の

各階級に 接觸し互ひに虛心坦懷其の間に何物も挿まないで談論したいのである從來のやうな宴會だ招待だと形式的な交際に浸頭せずに專ら會談に全力を注ぐ考へである、少くも朝鮮民狀の眞髓に觸れて內地への土産を有意義たらしむる方針である』一宮氏は曰く『政友會の

馬賊團が 行つて來たのだと云つて實は御覽の通り鬼面の如な不細工明ばかりでね今回の視察は飽く迄民心の機微に觸れたいと思ふので縱橫無盡に此の荒くれ四人男が京城市內を闊步するから賴みますぞ、京城は四日、平壤に一兩日、新義州から安東縣まで視察する考へだが行程が決まつて居らぬ向ふ所で研究するのだ』

新造の連絡船
四千噸級が二隻出來る
建造費は約六百萬圓
工事期間十七箇月

鐵道省にて今回新に建造することゝなつた關釜連絡船二隻は現在の連絡船中特に速力早く且つ噸數最も大なるものとせられて居る新羅高麗よりも新造の二隻は遙かに是等に優越し四千噸級にして一時間十七哩四分の一の速力を有し全速力十九哩の能力を發揮することが出來るさうで建造方法はタービン式に依るので船の長さ六十二間餘幅七間餘深さ四間定員は一等四十三名二等二百二十二名三等六百五十名を收容し船客に與ふる航海氣分は極めて愉快である鐵道省では此の程建造請負を公入札に附した處二隻共三菱に落札した依つて三菱では神戶和田岬に於て其の工を起すことゝなつたが一隻の工事期間十七箇月を費し之が建造費は二百八十萬圓を計上して居るから二隻の總建造費は約六百萬圓に上る譯である(下關電報)

飛行郵便
一臺に六百封度積める
桑港ビクトリヤ間

米國遞信省は今回ビクトリヤ及び桑港間長距離飛行郵便實施に決し日本郵船大阪商船を初めビクトリヤ港に寄港の船舶に積載せる至急郵便物は飛行機一臺に對し六百封度迄を限り運搬する旨十六日日本郵船會社支店より入電ありたり(東京電話)

本町の
強盜傷人
犯人檢事局へ送らる

市內本町二の一二硝子商高橋潔(三九)を傷けし強盜傷人洪完植(二二)は十六日午前六時半本町署に檢擧嚴問し同時に證據蒐收中であつたが檢事局から拘留狀を執行され十七日檢事局に送らる

富豪を付け狙ふ
脇差持參の男
社會主義にかぶれて
徘徊中を捕はる

十四日午後須磨寺前辻友旅館に泊まる四十歲前後の男あり同夜外出し翌十五日もブラく〜し居たるが其の行動頗る不審なるより須磨署にて八時半同人を引致取調べたるに東京市牛込區市ヶ谷町の町印刷業山田某(三九)と云ひ羽織の下に一尺六七寸の脇差を所有し居り之を警官の前に投げ出し『今となつては仕方がない何も彼も云ふてしまふ』とて其の語る所に依れば同人は本年六月東京を出發し大阪九州等を經廻り本月八日明石驛前に泊り夫より須磨に來りたるものにて所持品には幸德秋水が兆民の許に出入し居りし中江兆民の『一年有半』あり實は自分も兆民の許に出入せるものにて自然社會主義にかぶれ社會の現狀に滿足出來なくなりたるより各地を漂流せるが須磨は殿前や成金の集合地にして社會の注目を惹き居れるより此の地に來れるものにて十四日夜より十五日迄一睡もせず內田信也山下龜三郎住友男等の邸宅の建物等を窺つて居ました今日救されたのは殘念だと涙を零し居たるが非常に昂奮し居れる樣にもあり又精神に異狀ある樣にも見受らるゝより警察署にては監視を嚴重にし東京に身許照會中(須磨電報)

絞首臺に上る日
が近づいたのではないか
縮まつて來た
姜宇奎の運命

死刑宣告を受けてからは西大門監獄鍾路拘置監に繫何もない餘命を繫いでゐる南大門驛頭の爆彈投擲犯人姜宇奎は何日死刑執行があり絞首臺上の人となるか其の長いのに姜宇奎自身も世間も餘りに期

不審がり 一部鮮人間には姜宇奎は乾度放免されるだらうと信じてゐるものもあるらしい一方息子の姜重建は父姜宇奎の死刑を貰物にして全鮮を金を集めて廻つたり時々は人氣取らしい狂激な行爲を演じて警察の御厄介になつてゐる。果して姜宇奎は何時死刑が執行されるか出謎の如き

死刑執行 の日は何日であらうか

姜重建は過般來平安南北道方面に行つてゐる十六日突如として在京城の姜重建の妹某から平北某地にある姜に對してスグカヘレの急電があつて本日あたり姜重建は歸城するらしい電報を打つた妹と云ふのは最に郷里から京城に來て父へ差入其他の世話をしてゐる相で此妹からの急電は

何の意味 だらうか。謎の死刑執行に對して謎の急電……姜宇奎が絞首臺上の人となるべき最後の審判の日が近づいたのではあるまいか。所轄の京城覆審法院でも拘置監でも分つてゐないと云ふが果して何日であらうか

吉備樂に就て
宗家尾原音人氏の談
演奏大會はいよく
來る二十三四兩日開催

既報京城吉備舞樂會主催本社後援の吉備舞樂演奏大會はいよいよ來る二十三四兩日を卜して長谷川町京城公會堂樓上に於いて開催の事に決し主催者側に於ては目下極力準備中である右大會に出演の吉備樂宗家尾原音人氏は門人中島重馬氏及び山本正三氏同伴十六日本社を訪問吉備樂に對する年來の抱負を述べ更らに今回京城に生れたる吉備舞樂會の趣旨目的等をも闡明されたが吉備樂の沿革其他に關する同氏の談片左の如し

吉備樂は 明治時代に前御津郡磯井村の人で藩侯の樂士を勤められたる岸本芳秀翁が始めて日本固有の雅樂を俗樂と調和させようとして箏、笙、篳篥、横笛、太鼓、鉦、鞁、鞨鼓等である之れに伴なふ舞は大和舞、能樂其他各種の舞からも參酌潤和して一箇の特種なる吉備樂と云ふ振が出來たのである 而して創始者たる故初代宗家岸本芳秀師は代々藩侯の樂士を仕ふ岸本家に生れ僅か七歲の幼年にして樂に志し父芳景氏につきて數ケ月にして其梗概を習熟し人をして舌を捲かしめたる程の天才兒、あつたと云ふ其の十六の時父君病歿の後を繼ぎて藩侯の樂士となり熱心に修樂怠らなかつた其後師は皆を換へて西の京により各道の巨匠の門を敲き三管一鼓の蘊奧を極められた翁は其の天稟の樂才と熱心なる修養とによつて古今を折衷し頗る各缺を補ひ雅に

新機軸 を案出したのであるが當時禁調の制は濫りに新調を作ることを禁ぜられて居たので折角蘊蓄した樂想もこれを世に現すことが出來なかつたが幸に明治維新の際此制度も解禁されたので師が多年の宿望を遂ぐるの機此處に到著し決然一家を立て世に公にせられたのが前記吉備舞樂の起源である此の舞樂は森嚴優雅を主とするから神官等の習得するもの多く專ら神社等の祭事に使用されて居たところが芳秀翁の息で二代宗家を襲はれた芳武師は之を改良して家庭的舞樂ならしめん途を開き尙進んで歷史的舞樂をも作制されたこの

歷史舞は 畏き邊にも召されて御上覽に供した事も數々あります樂曲中にある

眞金吹く吉備の歌舞九重に召されてけふや
昔今吉備の中山なかさりて吉備の歌舞
調ぶるふしの音のさやけき
新御世の御世に合せて新遊び起すは世々のためしなりけり
身に持つ人は身の譽れ
つもれば國の譽れなりけり
よきわざをよきわざを

などの歌は初代の翁が青山に於て皇后陛下御上覽の榮を得た時御階序を許された當時の歌人福羽美靜氏が詠じ奉られたものであります

檢擧の手伸びん
東京の疑獄
益々發展?

十六日午前十一時警視廳正力刑事課長は東京地方裁判所に金山檢事を訪問し何事か密議をなしたる後更に大田黑檢事を訪問し約一時間半に亘りて協議を重ねたり正力課長は右の內容に就ては何事も語らざるも察するに愈々道路疑獄事件醜類を大々的に檢擧することゝなり一兩日中に檢擧の起訴を見るに至るべく之に依つて事件は意外の邊に飛火し某々巨頭の檢擧を見るに至るべし(東京電話)

石川素童師遷化

曹洞宗總持寺貫主石川素童師は過般肺炎に罹り重態に陷りしが十六日午後三時終に遷化せり享年八十歲なり(東京電報)

地獄耳

△琿春に出動の某軍隊から永宮軍醫の許に來た私信に依ると『馬賊討伐は無く昨今は此理、花用張の形さへ見ない△不潔な鮮人家屋に宿泊しつゝ旅行を續くれば琿春でも東寧でも馬賊は逃亡するので馬賊の樣な感じがし△毎々然蟲に襲撃され惜しい夢を破られる始末、上、大阪大隊の衞生狀態は頗る順調だが四名の戰傷者と二名の病者を發生せしめたのは極めて遺憾である△殊に戰傷者中一名の死者病者中一名の重患者を出した事は返すくも邦家の爲め遺憾に堪へない』とあつた

被服革命の叫び
◎防水防寒兼備の羅紗マント◎
粗惡品と同視す勿れ ◎見本無代送呈

德用旭羅紗 本舖 東京 旭絨布商會卸部

◎冬の御用意……には
▲專賣特許宮崎式ペーチカ
▲新案特許宮崎式ペーチカ(最新型)
◎特色と効果は御用命先に成るほど「なるほど」と毎年御褒辭を頂いて居ります
京城龍山 宮崎組本店

少年怪談 ロ号
少年世界
新讀物 白狐退治 百人塚の火 狸 獄門の勝 のっぺらぼう
本年 掉尾の大活劇 海底の牢獄 大笑栗毛 沈める月 若樣の薬
探偵小說 さすらひ兒 蟹 財布の行方 大懸賞募集
東京 博文館

交際上手社交の必要
大々好評 宴會百藝
◎宴會の席で必要なのは交際上手卽ち人を飽きさせず洒落や稽談に花を咲かせ明はずに座のしらけぬ一通りの隱し藝が必要である
特價 七十五錢
發行所 東京赤坂 日本靑年通信社

慶安太平記

第十六席　小金井芦洲講演

黒川勘藏は傲慢なる態度にて 勘『十成程な、イヤ唯今取次を以て申入れた黒川勘藏藤原影虎は手前であるが、如何にもこりや嘘偽りでもなく御病氣だな、石井汝も確と病人と見たか 五『左様でござる、病人面に見受けました 勘『ハヽア、扨て何んだな、天下に聞こゆるこころの鑑道の名人黒川勘藏が京師洛中に滯在と云ふ事を承はり、その名前を聞いたばかりで今に訪れは來やせんか、イヤ尋ねて來るだらうと言ふ怯氣の心からして遂に病氣になつたに相違ないな、ハヽア然うだ、ナア五郎八 五『左様〳〵 夫れに相違ござらぬ、實に意氣地の無い奴でござる 勘『イヤハヤ見下げ果てた奴だ、病氣全快の折勸あつて尋ねて來れば立合ひをすると云ふが、名前を聞いたばかりで怯氣付き病氣になる者が、この後その黒川勘藏と言つて玄關から訪れになれば立ちどころに眼が眩むであらう、何時だつて立合ひが出來るものか、片腹痛い、意氣地なし奴 五『先生、斯樣な所に長居をいたしたつて仕樣がございません、早く立戻りませう病人に向つてそんな事を仰しやつたつて手應へが無い、實に詰らない話……コレツ、我等が先生はな、天上天下唯我獨尊實に天晴れなお腕前だぞ、黒川先生洛中御滯在と承はつて臆病風に誘はれてこの通りの病氣になつたんだらう、ハツハヽヽ（笑）笑止千萬な事だ、さあ先生戻りませう』 傍にヂツとして聞いて居りました大淵格太郎、未だ初心者だけれども、餘りと云へば禮儀を知らない惡口雜言、實に慮外千萬な奴があるもだと思つたから 格『エー、黒川先生とやらに一寸申し入れる 勘『ナ何だ何んぞ用でもあるか 格『私は當高澤先生にお取立てを預く大淵格太郎と申す者、未だ初心者ではござるが一言申し入れる儀がござる、貴殿の御高名はこれ程かは存ぜねど、お名前を承はりつたばかりで臆病風に誘はれて病氣をお覺ねなさると言ふ、左樣なる手前共の師でござらぬ！ 恩師は早くよりして諸國遍歷をいたされ洽く武藝者に交際を求められたが、當時は此の地有志の者に引止められて、斯の如く道場を開いておいでになる、而して恩師が諸國遍歷のお話を常に御教訓に承はつて居るが、その中に黒川勘藏なんぞと言ふ名前を承はりました事はござらぬ、然るに今日御訪問下さつて、御自身の方から兎や角と仰らるに依つて初めて知つたる位凡そ物には禮と言ふものがある些とお嗜みあつては如何でござる』と極め付けた、蛙の面に水と云ふ譬もあるが、高慢な奴の前には道理が分らない 勘『何が無禮だ、何を嗜むツ 格『さればさ人も知らぬ武藝者なるに、自分の方から天上天下唯我獨尊であるとか、天下に聞ゆる名人だとか、種々と最前から餘りと言へば舌長なる言ばかり仰せらる、未熟者ではあるが、手前も餘りの言葉聞くに堪へ兼ねる、門人は門人同志といふ事もござればお召連れになつたる石井某じ手前お手合せ仕るでござらう……どうぞ先生、御病中恐れ入つたる事ながら、その所に於て御見物を願ひ度う存じまする 勘『フン、何だと、此奴、黒川勘藏と云ふ名前を聞くは今初めてだと、無禮沙汰の限りぢや、石井弭叩いて了へ 五『ハイ畏まりました……それツ大淵とやら手前天下の豪傑黒川先生にお取立てを蒙く石井五郎八、相手みいたしてやるから早速道場へ出ろ』と是れ亦黒川に劣らぬ高慢振り。

お正月もアト數十日
たまや京都屋靴店
京城明治町　電話一一九六

將棋新手合（一）

於本町一齋亭　將棋同好會秋季大會
初段　▲島澤岩太郎（木浦）
手先初段格　△森　康次郎（木浦）
（圖は五五步迄の局面）
△持駒　森氏　ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		金	銀	桂	香	一
	飛		銀			王	角		二
步		步	步		步		步	步	三
						步			四
	步			步					五
		步	步						六
步	步	角		步	步	步	步	步	七
	銀	飛	金			玉			八
香	桂				金	銀	桂	香	九

△七六步▲三四步△六六步（イ）▲八四步△六八飛▲八五步△七七角▲六二銀△七八銀▲四二玉△四八玉▲三二玉△三八玉▲五四步△五八金▲五五步（ロ）△四六步（ハ）▲九四步△九六步▲五二金△一六步▲一四步△二八玉▲五三銀△三八銀▲五四銀△六五步▲八四飛（以下次號）

滞呂木六段講評
△（イ）六六步突き手段ならんも弱し
普通に二六步と指方正法なり
▲（ロ）五五步突き筋なれど目下の形にては少々早し
△（ハ）四六步突き早し早く陣營を固むる方優れり

有効確實ニシテ賞讃ヲ博セル
マラリア特効丸
定價　金貳拾錢　參拾錢　五拾錢
表　壹圓　壹圓五十錢
龍山元町二丁目
製劑本舖　林藥房

十一月十九日（舊暦十月九日）
上弦（午前五時十三分）
▲金曜日▲辛巳▲七赤▲帝國西方▲赤口▲婁宿▲破

▼七赤▲平らかならぬ日不時の損失あり諸事内輪に行うて無難
▼八白▲新らしき事も常の事も意の儘に運ぶ進み甲斐あるべし
▼九紫▲無鐵砲の事あり用心した上にも用心せざれば損を招く
▼一白▲實直にして長上の引立を受くべし女子の獨立を圖る好
▼二黒▲面白く華やかな日開店旅行求職結婚其他何事にも大吉
▼三碧▲意に逆らふ事ある日新しき企て凶女は禮儀を守るべし
▼四綠▲利に疎く德を失ひ且動もせば紛亂を釀す日白重が第一
▼五黄▲幸運盛大の日起業移轉行商就職等は素より縁組結婚吉
▼六白▲萬事至つて順よく運ぶべき日新しき取引にも利益あり

上流歸客談

安北道楚城、厚昌、江[illegible]三郡に亘る[illegible]敵の[illegible]
受けたる者は非常の危險なる事を切實に感得し何等の危害に逢はざるものは更らに危險を感ぜずと云ふの多[illegible]
五里間の空氣は遽かに緊張し來りた[illegible]り今回歸任の際は十一月四日[illegible]出發舟筏の便によりて五日夜[illegible]江に到着して宿を求めたるも[illegible]
[illegible]ものゝ如く遽かに火を吹き[illegible]消すと同時に忽ち數挺の短銃を手に[illegible]を切らんとせり此の[illegible]
退鮮人の逆襲と恐惟したる者ならん

鴨綠江上流

一帶の渇[illegible]積み換ふる等頗る困難の狀況なるを目擊したり高山鎭以下にお[illegible]んも其の上流は凡て越年するの外なかるべし云々（新義州）

[illegible]りて開宴明月紅[illegible]の手師會員の[illegible]し藝者ありて數興湧ぐが如く午後四時散會したり（群山）

[illegible]一般選十五日午後一時四十分解任せり（平壤）

○小松氏遺族の寄附　仁川安[illegible]

有

りん病　ばい毒

にせドラッグが沢山出來ました

請合藥　別八円　特四円　並三円
別四円　特三円　並二円

●淋病藥王藥は治淋劑として梅毒藥王藥は驅梅内服藥として醫藥學上最有效と確定し歐米醫科大學帝國大學病院等にて實驗配劑せる高貴藥なるを保證す若し前述の證言に違へる事を證見せる時は分析料百圓進呈
●あらゆる治療をなすも全治せざる患者は兎に角一度來談あれ

本舖　大阪心齋橋筋本町　有田音松
製藥所　大阪內本町二丁目　有田ドラッグ
滿鮮發賣元　京城南大門外停車場通　有田ドラッグ　長電話三五八七・振替京城四六七

鮮　京城黃金町三　鍾路電車交叉點　龍山三角廣場　釜山辨天町　元山本町二丁目　群山東榮町　木浦榮町　咸興本町三丁目
滿　平壤道廳正門前　鎭南浦三和町　仁川宮町三丁目　大邱停車場通　晉州大安洞　滿洲大連岩城町　奉天松島町　安東縣市場通

朝鮮　滿洲　にせドラッグ沢山あり　表記支店にて有田藥を御買取あれ

[illegible]

四國　[illegible]
支那　台湾　台北祖師廟前街　青島新市場通　有田ドラッグ

盛に在ると　にせが出來るヨ

有田ドラッグ　東京日本橋通四　大阪心齋橋筋本町　松

京城府告示第十九號
大正九年十一月二十日京城府協議會員ノ選擧ヲ行フ其ノ選擧ノ投票日時及選擧スヘキ協議會員數左ノ如シ
大正九年十一月十一日
朝鮮總督府々尹　齋藤禮三
記
一、選擧會場　京城府南大門公立尋常小學校
一、投票日時　大正九年十一月二十日自午前八時至午後五時半
一、選擧スヘキ協議會員數　卅人

開業明治貳拾九年
中古品通信販賣之元祖

新古實質流良品　價格低廉在品　豐富取揃あり　各種定價表は返信券添へ御申越次第御附呈　御交換御隨意

（季節用）
折襟三ツ揃　紺サージ二拾四圓五拾錢より　縞柄もの拾參圓五拾錢より
背廣上下　紺サージ貳拾圓より　霜降もの拾八圓五拾錢より
大型マント　紺黒無地もの拾五圓內外　黒無地もの八九圓より參拾圓
二重マント　縞柄もの同價　鼠霜降物拾七八圓より
東コート　縞セル地拾貳參圓より　外套種々
乘馬ズボン　茶褐ラシヤ九圓內外
角マント　四五圓ヨリ貳拾圓以上
毛布二枚續き　白九圓以上鼠み五圓以上
右の外種々多數あり御下命次第御指定に基き發送候但し小包料實費申受
衣類安價なる作業用洋服と外套上
定價表小包にて引換

米山萬治郎商店
東京市神田區東龍閑町　振替口座東京一六九八番　電話本局一九九八番

BROCIN
ブロチン

鎭咳袪痰劑

ブロチンは醫學博士吉村喜作先生の創製にかゝる鎭咳袪痰劑にして、其效果の佳良なるは實驗醫家の報文に明かなるところ、發賣以來異常の好評を以て迎へらる（實驗報告集御申越次第進呈す）
●適應症●　急性、慢性の呼吸器疾患にして咳嗽、喀痰を伴ふ諸症並に百日咳等
▼粉末、錠劑、液劑の三種あり各地有名藥舖にて販賣す

三共株式會社
本社　東京日本橋區室町
出張所　大阪道修町・臺北府後街

△桃谷研究試驗所創製▽

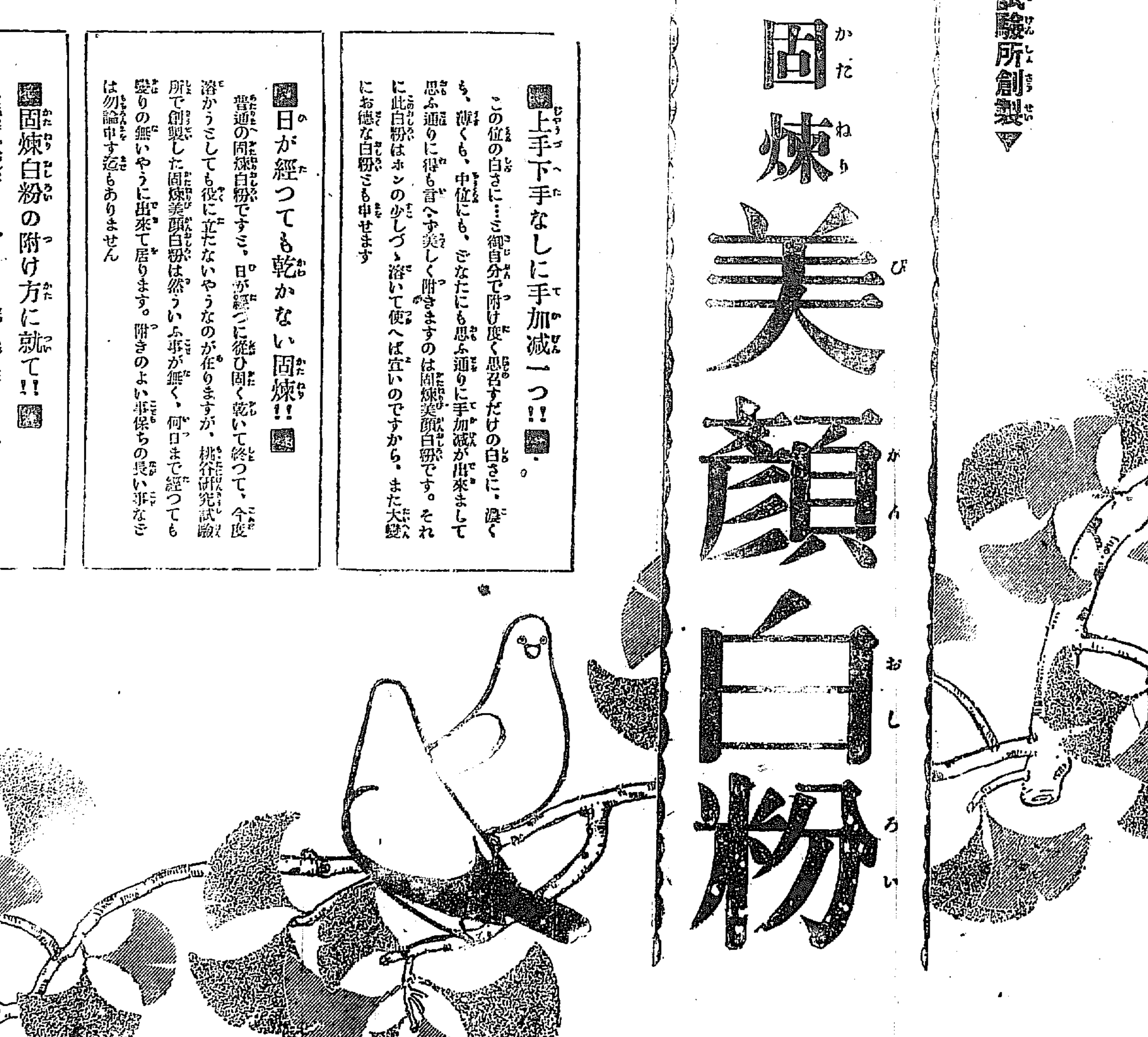
一品でいろ〳〵にお化粧の出來る!!!

固煉美顏白粉

上手下手なしに手加減一つ!!
この位の白さに…と御自分で附け度く思召すだけの白さに、濃くも、薄くも、中位にも、どなたにも思ふ通りに手加減が出來まして思ふ通りに得も言へず美しく附きますのは固煉美顏白粉です。それに此白粉はホンの少しづゝ溶いて使へば宜いのですから、また大變にお徳な白粉とも申せます

日が經つても乾かない固煉!!
普通の固煉白粉ですと、日が經つに從ひ固く乾いて終つて、今度溶かうとしても役に立たないやうなのが在りますが、桃谷研究試驗所で創製した固煉美顏白粉は然ういふ事が無く、何日まで經つても變りの無いやうに出來て居ります。附きのよい事保ちの長い事などは勿論申す迄もありません

固煉白粉の附け方に就て!!
固煉美顏白粉は、お附けになる時、水で溶いてお用ひになつても勿論宜しいのですが、これを美顏水で溶いてお附けになりますと、一層自由自在に附いてお化粧の艶が增し、お化粧美は一層加はる事になります。お化粧に經驗のある方々は、固煉白粉は、大概斯うしてお附けになつて居ます



[illegible]調査會[illegible]の觀點となり居る常平倉[illegible]問題に就ては大藏省側に於て[illegible]は全く之に關して未だ省議を開きたる事すらなし常平倉設置は

食料問題（[illegible]）

[illegible]る中に該常平倉問題の口吻あり[illegible]る時（二）米價の極端に暴落せる[illegible]目的は（二）米價の極端に騰貴せ[illegible]時に於て之が調節の機關たらしたるが如く傳ふるも該は食料充[illegible]

倫敦金融引締

倫敦十一日發十五日日銀著電に曰く十日ストライキ終了し一般の事業安定し且つ冬物期節にて商況多少活氣つき資金の需要喚起せられ金融漸次引締り氣味あり外國爲替は再び著るしき變動を示せり九日三、三三弗に低落したる對佛爲替は其後三、三八弗に恢復せりと（東京電報）

帝蠶資金融通

帝蠶會社にては十六日小澤原兩氏農商務省及日本興業銀行を訪問し帝蠶會社は既に買入準備を整へたるを以て買入に著手しつゝあるが買入高は約二萬個にして一先づ二千萬圓の資金を融通せられたしと懇願せるに對し農商務省にては直に之を承認し興銀の手にて融通限度は擔保額七掛帝蠶會社重役連帶一掛合計八掛を融通するに決せり（東京電報）

大豆、豆粕激落

米市場の低落に依り大豆市粕市場は低落を免れず十六日當所は大豆粕四圓四十錢にて前日より五錢安なりしも午後は四圓三十三錢と激落し大豆亦十二錢五圓三十五錢に低落せり（大阪電報）

日清汽船總會

日清汽船會社にては十六日午後二時より本社樓上に第十四回（本年下半期）定時株主總會を開き近藤社長より今期營業狀況の報告あり損益決算貸借對照表財産目錄を承認して配當年一割を可決したり（東京電報）

○京阪金利　十六日現在左の如し

	東京	大阪
コール無條件	一、〇〇	……
翌日物	八、〇〇	五、〇〇
六十日物	一九、〇〇	一七、〇〇
歩合	二七、〇〇	三〇、〇〇

○日銀帳況　十五日現在の如し　千圓單位

發行高	一、〇三四、七〇四
正貨準備	一、〇三四、七〇〇
發行餘力	一、二〇、〇〇〇
貸出高	一六五、五一〇八

○鮮銀券日報　十六日現在左の如し

發行高	九四、四五五、七七二
正貨準備	四七、二五四、七七〇
限外發行	……

財界閑話

▲齋藤久商店の命脈は事實危いのだと傳へられてゐる▲然し取引銀行で大丈夫との證言を與へてゐるのは店主たるもの大いに感謝せねばならぬ▲であるのに何う考へたか此頃取引銀行の貸出し放漫―つまり貸しすぎが乃公失脚の因だと云つて廻つてゐるさうな▲左樣な言は益々一般の同情を失ふ事になるであらうと同店の爲めに某銀行家は心配してゐる▲京取の期間延長許可も來ぬ〳〵で一向來ぬ先日來の許可も來る〳〵で一向來ぬ先日來も今日だ〳〵と噂してゐたがそれは噂に留まつた▲天日君の好き度々催促するので總督府の數居が高くてもう行けぬとコボしてゐる▲だが十六日には今日はゼヒと云ふ意氣込みで山に上り又復無駄足を踏んだ▲然し愈々近いらしい

株式（手堅し）

前場探り合

昨後場九圓三十錢に寄付き八圓八十錢の安値を見せて引際再び九圓三十錢と盛返したる氣先きて九圓以下には押目狙ひの買ひ注文潜在を思ばしめて九圓臺は依然手堅く九圓丁度と寄付き跡田中買ひ新田買りに二十錢と擡げ二の廻り四十錢と伸びたるも高値は新田の賣抑へに三十錢と付け結局前日と變らず双方探り合ひのまゝ海商内裡に大引せり雜株は東亞新十錢と引け鮮銀新は田中のバイカイに三十四圓三十錢と付け鮮銀田中買りに金秀、川崎買に四十四圓五十錢と出來郵四十錢と弛み電興五圓四十錢にて櫻谷買、吉見、井口賣に出來ぜろか跡買手あり東亞新五圓、田中買にて五十八圓と付き跡尙は買手ありたり

後場昂進

前場九圓丁度より三十錢と小締りて引けたる氣先後場は依然先高人氣に衆側されて底意手堅く田中買り櫻谷買ひに九圓五十錢と二十錢高に寄付跡金秀金龍買際へて八十錢と伸びて二の廻り續いて櫻谷の買物に九十錢と引締り跡賣物薄の場面を呈したり雜株は鮮銀八圓五十錢と氣強く出來せるが同株には尙は相當の買物潜在せる模樣にて服先十圓見當の高値を豫想するものあり

双方の觀測

京取は昨後場より今朝に亙る場面は蔵ゆで之れ程觀測すれば二十圓以上は相當の賣注文入り込み居れる反面に九圓以下は赤孰れも買募けれる振合ありて九圓三五十錢處に小競合を繰返し居れるもの如く此の保合ある問題が何れに分岐するやは頗る興味ある問題にして昨今の内地相場の氣味ちよりすれば大勢は頭重く此の桑一崩れた豫想されざるに非ざるも從來京取が常に内地高に逆行し居る處より見れば内地の不味は反つて服先高を意味せずやと云ふ觀念も强い一笑に附せられざるべく兎に角强氣は總會を控へて期間延長場外賣買信託兼營等の可能を信じ又賣轍を期して買進まんとするに反し弱氣は例令有の諸問題が必要缺くべからざる問題には相違なきも從來市場に對する總督府の態度より推して到底早急の實現望み無く又之れが實現を期せんとすれば現重役の如き微温的手腕を以てしては到底目的を達するに難れば根本的の改革を要すべくそれには尙ほ相當の日子を費やさゞるべからず其の間年末の大節季を控へて資本の需要を喚起すべければ先づは一段安かるへしと觀測し居れるものゝ如し

主要株歩み値段

京取（前場）二九、二〇〇●二〇〇●三〇〇●四〇〇

京取（後場）一九、三〇〇●五〇〇●七〇〇●八〇〇●九〇〇

出來高　甲　千百一十枚　乙　三十一枚

累計　甲　四千百三十枚　乙　八萬六千二百二十枚

場内氣配

（甲部）▲鮮銀新十二圓五十錢賣三十錢賣▲拓新十四圓賣▲仁取百五十圓四十錢買▲鮮銀新四十九圓八十錢賣▲商銀三十八圓五十錢賣四十錢買四十錢賣▲貸銀八圓七十錢買五十錢賣▲鮮土十一圓買▲朝紡十三圓八十錢買▲滿毛十六圓三十六圓賣▲漢銀三十錢賣▲殖鐵四圓買▲滿毛十六圓三十錢買▲大株百十一圓買八圓九十錢賣八十錢買（乙部）京取五枚買▲新東七十四圓買▲上取四十五圓八

京城現株市場出來値（十七日）

銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場
京取　引寄	一九、〇〇　一九、三〇	一九、五〇　一九、九〇	商銀　引寄	……	……	京電　引寄	……	……
殖新　引寄	……	……	同新　引寄	……	……	同新　引寄	……	……
鮮新　引寄	……	……	漢銀　引寄	……	……	電興　引寄	……	五、四〇
東拓　引寄	……	……	同新　引寄	……	……	東電　引寄	五八、〇〇	……
東新　引寄	三五、〇〇　三五、三〇	……	鮮銀　引寄	……	……	朝煙　引寄	……	……
仁取　引寄	……	一四〇、〇〇	東拓　引寄	……	……	朝郵　引寄	……	……
鮮銀　引寄	……	……	鮮土　引寄	……	……	殖鐵　引寄	……	……
商銀　引寄	三三、三〇	……	朝紡　引寄	……	一三、五〇	中鐵　引寄	……	……
殖銀　引寄	四四、四〇　四四、五〇	四四、四〇	滿毛　引寄	……	……	滿鐵　引寄	……	……
貸銀　引寄	……	八、五〇				同新　引寄	……	……

北濱だより（歐洲各交）

戰國は疲弊して物資を需買するにも金がなく對歐物資の供給國である米國は之が爲め輸出の不景氣風が吹捲るし歐洲は金歲縮出の不振で物價は漸落ソコで明年早々過剩せる生産品を處分する爲め歐洲諸國に對し長期の信用を與へて貸賣りをなす爲めエッヂ法の下に一億弗の資本で外國貿易銀行協合を組織し棉花も此の國の手で賣出促進策を講ずる程の騷ぎである▲處が我國は昔き經驗に一歩先きに味ひ今では豆腐大の正味四貫目が二萬圓もするさふ金塊が大阪造幣局の倉の中に山吹色の光を放てゐるものか勿體一億七千萬圓程夜鳴きして居る▲これも日銀等のもので企業家の手持ではなく正金住友鮮銀等のもので今では金の輸出禁止で政府に與へる一方だと云ふ素晴らしい景氣の好い話である▲此底力のある景氣に惹れて最低六割の鐘紡は三百圓を甞入れ大株の孫は男女同權を主張されても代だなら別に珍しい事ではないが親子同權を唱へられ▲親を尊重せずして可愛い孫を育てる事に一般後張なく弱氣は親を十枚賣りて孫を十枚買ひ强氣は親を十枚捨出して孫を二十枚買ひて之が發育を樂んでる

兜町だより

前月對外貿易は二千三百餘萬圓の出超を示したが本月に入り貿易狀態變化し上旬は各港を綜合すれば既に百萬圓の入超に終るであらうと懸念さる▲現在の取組高は三期合計七千萬株と號稱して裏面甚だ取組薄に見ゆるが過渡株主と取組高は三千萬乃至二千萬の間に跨るで其の過半をポ居るから實際は小口落解禁前の百五十萬乃至二百萬の取組に過ぎぬそうで思ひ居る市場は頭が重く此桑一崩れたやあらう▲斯く案外な大喰合ひを示して居るに動かれずに飛んだ相撲で何時か外來の騰材料にも動かされぬが故にあらず易に何れにも動かれぬ皆だと云ふしてゐる

紐育株況（紐育十五日發電報）

紐育株は昨今の週株にて低落し之れに脹らうとの觀測の過剩製產品中棉花の八百萬俵も存在するは今後益々米棉相場を下落せしむるに至るべく我綿絲相場及ビ紡株も亦大阪の石井と云へる相場として居る▲大阪の石井と云へる相場界には變現出しつゝありて我株は買ひ持つて居ると思へば其代りは綿絲とか其他もの賣り時機を失せぬ腕前は寧ろ天一以上であるから歩々油斷すべからずさ

銀塊市況（倫敦十五日發電報）

銀塊相場は區々の商狀にてスチール株四十二弗と變らずアナコンド銅株四十二弗三弗安

米棉市場（紐育十五日發電報）

は東洋方面の買氣なく低落を示し五十一片八分の三と一片八分の七方崩落せり（紐育十五日發電報）銀塊相場は七十六仙となり二仙八七安

上海株況（上海十五日發電報）

上海相場は一月限り十七仙八五となり持合の姿なり

銀二十五兩日華紡三十三兩半對日貨替五十七兩綿糸本月組組百五十三兩

東京先物電報（十七日前場）

東株一二五、〇〇▲同新七〇、二〇〇▲郵船一四六、二〇〇▲日清五八、二〇〇▲鐘紡二二八、五〇〇▲商船八八、三〇〇▲日糖八二、四〇〇▲滿鐵紡八五、三〇〇▲東毛八一、〇〇〇▲日石一三七、九〇（近藤入電）

株式賣買

に關し彼是の[illegible]議論ありたり若し夫れ尨大なる[illegible]府として[illegible]は米穀宛置の根本策よ[illegible]なるも目下三井筋の[illegible]は未だ[illegible]と認めざるべからずと（東京支局）

東京現株特電

銘柄	十七日前場	十六日後場
鮮銀	一一、〇〇	一一、〇〇
同新	三三、〇〇	三三、〇〇
東拓	四七、〇〇	四八、〇〇
同新	二二、五〇	二二、五〇
滿鐵	一〇三、五〇	一〇四、五〇
同新	一九、〇〇	一九、五〇
臺銀	四二、〇〇	四二、五〇
同新	二二、〇〇	二二四、〇〇
東株	三七、五〇	三八、五〇
滿毛	一〇、〇〇	一〇、五〇
朝取	一〇、八〇	一一、〇〇
朝紡	一〇、八〇	一一、〇〇
滿紡	一九、五〇	一九、五〇

大阪株式特電

銘柄	十七日前場寄付	十六日後場大引
大株	一八、六〇	一九、九〇
鐘紡	一四六、〇〇	一四七、〇〇
同新	五九、二〇	五九、六〇
商船	七〇、二〇	……
同新	二六、九〇	二三五、三〇
商船	二五、二〇	二三、一〇
同新	七一、三〇	七三、〇〇
東株	四一、五〇	四三、九〇
上取	……	……

銘柄	十七日前場大引	十七日後場寄付
大株	一七、九〇	一七、〇〇
郵船	一四五、三〇	……
同新	五九、〇〇	……
商船	二三九、〇〇	二三七、一〇
同新	二七、四〇	二五、一〇
東紡	二三、二〇	……
東株	七一、五〇	……
上取	四〇、八〇	四一、〇〇

大連株式特電

十六日　寄付　止め

	寄付	止め
取引所	三八、八〇	三八、五〇
當限	三九、〇〇	三八、六〇
先限	……	……

株界片々

新川耕市方面協議員の立候補の兩議員が仲買組合に打つ出たのは假に氣を向上すると云ふ處の位を得る上にも成功の跡がへ大にも意味で社會的して位▲或投資家が日本新市場になつに於て居る▲投資の人の噂らで無いと兩名

▲米國四分利公債で百圓以上の手數料を取つて居る者は十錢の手數料で賣ふさが居る四十六圓四五十錢見當で之を買ふさ公債で百圓券が四十七圓で賣ふるる於ける七十六圓四五十錢見當で賣つて居る▲失れは明治四十三年（一九一〇年）發行の佛貨公債▲賣却は極めて自然の如く此公債は償還の場合に見たる利益で有利公債すの賣合は一圓で若し五百法券が此計算にするさ丁度百九十三圓八十錢の額面となる勘定だが失れが昨今では對佛爲替相場暴落の結果僅九十三圓で買取ることが出來る▲夫れが額面百圓の割に直すと四十七圓で買へる勘定で內國債に比べると殆ど卅圓近くも安價だタツタ四十七圓で買へる勘定で内閣と利息は大正四十九年なら佛貨償還は一年後の五十年なのだから懸念かざるを得ないのださ

○東京金融　前週末の東京金融左の如し

	十七億一	四百萬圓
預金　比前週	一千四百萬圓	減
貸出　比前週	十八億三千萬圓	四百萬圓減
金銀有高　比前週	一億四千四百萬圓	七百萬圓增

米況（氣崩れ）

仁川期米　十七日前場

五錢十八丁安に寄付きた

昨後場阪地の止め安と共に中限を解合ふた小口軟派の買直しに十九圓臺を割られ十八圓八十九錢と崩れ九十三錢まで不勢に打止めし折柄引跡大阪氣配の乘薄に今朝は當田來ざるも中二十圓丁先十八圓七十度と崩れ先十八圓七十

▲第二節　大阪寄氣配ポケの二十五圓五十五錢を入れ當中出來ざるも先八十錢より二錢と上廻りせしも戻りは正米の不勢に促がされし賣物殺倒して仲力添はず忽ち七十錢と赤一段の安値に追込まれしが押目は小口の手筋りさ値頃思ひの買ひに八錢と盛返し三錢と採合ひに引

▲第三節　當田來ざるか大阪跡三十錢の噂に中十九圓九十九錢と大腦

人氣の割下拡

▲第四節　當出來ざるが中九十九錢より九丸張の賣りに九十錢と崩れ先四錢に引

▲第五節　當田來ず中九十五錢と始め十錢に更に三十九錢と場り

手詰めも消化して四十五錢と益々不門を割りしかば先七十錢より小口の仲ばしが小口の手詰め買ひに五十五錢と戻つられ五十錢擱みに戻り待ちの買物と提戰に一錢と引

▲第六節　當出來ず大阪七節四十三錢の移りに中九十錢より五錢と引まり四十九錢と持合ひの折柄大阪の小戻しを受け五十三錢と返して引り先五十六錢より九錢と手堅く七錢さ大引せり

百丁近かくの反落を演じ

昨後場引際阪地の不勢を受けて久しく固執せし十九圓の關門も軟派の急追に瓦解せられ小口買方に對する繼投げを喚び中限解合の結果さし軟派は先限に向つて猛烈に賣玉を這ばして場面をさら付かし遂に前日の高値十九圓二十五錢より十八圓三十九錢と九十錢さ返して大引せし前日の九十七錢と返して共に仲ばし全本正米安を背景と揚し尙引めるも十八圓臺さいへば安過ぎの觀あると共に安心買は許されざれば人氣の潮には下拡ぶりつゝあり

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町　㊣仲買店　電話一八一長一八三番

仁川米豆所取引所仲買人　電話長六〇二番　受信略號ニンセンイリヤマ　仲買店

仁川米豆取引所仲買人　布井仲買店　電話二六四番　三三五番

仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目　仲買店　電話長九〇五番　四四番　八三二番

後場下拡ぶる

▲第一節　大阪前止め四十三錢後寄付き四十五錢の凝かりなりしも當地は中十九圓八十一錢先十八圓四十錢と十七安に寄付

▲第二節　當中出來ず先四十錢と始錢より二十錢とは中十九圓六十錢先二十八錢より二十二錢あり三十二錢引公定

▲第三節　二十九錢と不勢に引公定三十七錢より二十二錢あり三十二錢引公定

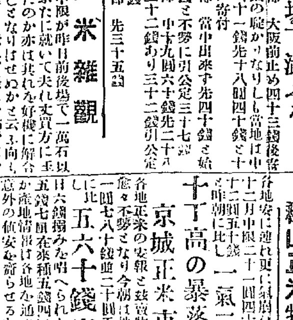
▲第四節　先三十五錢

二十八錢

	十六日後場		十七日前場		平均値段	公定値段	値段	現在高	取組高
	寄付	一九、二〇	寄付	一八、九〇	一節 八、九一	一節 八、七五	當限 一八、四一	當限	中限 三萬八百石
	止値	一九、二〇	止値	一八、六〇	二節 八、七九	二節 八、七五	中限 一八、七一	中限	先限 三萬七千九百石
	高値	一九、一〇	高値	一八、二〇	三節 八、七〇	三節 八、四九	先限	先限	累計 二十二萬八千五百石
	安値	一九、〇〇	安値	一八、〇〇	四節	四節 八、四九			三十八萬千九百石

期米雜觀

問題の中限が昨日前後場で一萬石以上解合ふたに就いて夫れ丈買方に玉があつたのか亦は其れを好機に解合い賣越しさなりけせぬかと云ふ向も可成程さう云へば怪しい點がないでもないがドチカは潮問題として買方の重い機關店と目されしものが大玉が殆んど減じて終ふた事は確かだ▲未だ又丸に六千餘石と云ふ纏つた買玉がある之れは大阪方面さも云へば赤は地場の精米筋さも傳へられて居る▲兎に角前日の解合ひで買方に有力者の額振れが多くなつた事は事實なるみか今月の末渡しにも今の中限の二十圓擱みは空間の買與や格上出樹と錯かく十月盤み持つたら愉に引合ふなくが迷かり値頃にも惚れて居られなく日當んで人氣を益々阪逃しようさして居るさは中限を解合ふた賣方が先限へ戰線を延長して叩き始めたに無理もないさ



各地正米崩れ

各地正米は、兹滅切不勢となり殊に今朝の如き群山二百餘町釜山百町方面の暴落を入れ京仁市場又軟化の振合にて自然定期に對する賣氣を誘ふに至れるか奇忠州方面の情報によれば殺一石六圓さか合格玄米十六圓さかにて持主何れも賣惑で居れるのみ▲しかにて今京仁地方に之れを吸集せんとするには運賃諸掛り費用一圓入九錢を見て十八圓一〜二に當る勘定なれば何れも之れ目を附け居れるが眼先は河筋の舟便止まりて本年度の降雨氷期を控へ殊に昨今過度着期間遲延計り難く萬一氣温の降下急なるに於ては招くと恐れありさしして不慮の損失を下さい事模様なり

形勢愈々惡化

中限の解合ひと同時に軟派は正米の不勢に先限へ戰線を延長して猛烈に賣浴せ問題の十九圓も無造作に破り今朝は更に不勢を果し形勢は愈々惡化し幾惡なるが否やは正米の不買行きに作ふ市場の人氣は再び賣氣萬能と化し買方の防戰も其の勢力に敵し難き成行さとなりたれば此の七阪地の一段安を移さんが軟派の期待せる正米崩れの大瓦落を實現するや計り難し

東京正米安

內地正米は其後益々安氣配に傾き今朝は關西地方の入電なかりしも東京に更に一圓方の低落を入れたり

蘭貢と西貢米

最近情報に依れば蘭貢米を始め外國米は到る處豐作にして一方他國より稍々荷俸れの狀態にて蘭貢米の如き買付商談乏しき爲め蘭貢も西貢は漸次安な呈し現在內地著も庁六圓五十錢を唱へ居れり蘭入社其の他の掛りを見て八圓擱みを唱へ居れりし一方西貢米も極上物にて七圓又若の七圓擱みを唱へ八圓擱みには賣手戸迄りにても西貢は七圓擱みを主張し居るもあり一方蘭瀬も今朝の入電に依れば新米の値積は又も續落の六圓八九十錢處を報じ古米は今の處相手次第なりさ

外米管理繼續

農商務省では管理中の外米を本年度に亙り穀物の端境期迄には拂下從來の價調整の際に

東京期米特電

○十七日前場先限　寄付　二六、一五　二節　二六、一二　三節　二六、一一　四節　二六、一〇　止め　二六、一〇

○十七日後場先限寄付　二十六圓二十一錢　二節　六圓二十錢

大阪期米特電

○十七日前場

當限寄付	二十五圓十六錢
中限寄付	二十五圓二十錢
同　止め	二十六圓四十一錢
先限止め	二十六圓四十錢
一節	三五
二節	三四
三節	三五
四節	三三
五節	三四
高値	三五
六節	三五
七節	三七
八節	三七
九節	三四
安値	三七

下關期米特電

○十七日前場　當限寄付　二十五圓四十錢　中限寄付　二十六圓二十六錢　先限寄付　二十五圓三十九錢　二節　五圓三十七錢　三節　五圓三十七錢　四節　五圓四十二錢　止め　五圓五十九錢

○十七日後場　寄付　二十五圓二十九錢

各地後止電報

○十七日前場

	寄付	止め
當限	二四、八五	二四、八五
中限	二四、四九	二四、四〇
先限	二三、五〇	二三、六〇

○十七日後場　當限　二四、八〇　中限　二三、六〇　先限　二三、五九

○十六日後場止め

東京	二六、三六	大阪	二五、五二
長兵庫	二五、五七	下關	二三、五九
桑名	二三、九九	名古屋	二三、九〇
熊本	二二、五一	金澤	二四、七八

釜山正米特電

內地期米昨後場の低落と新米の出廻り多きに氣配軟弱の一圓方低落し等三神戸五十四圓丁度同新米二十四圓二十錢良二十四圓四十錢同新米二十錢二五圓丁度にて二千四百臥の商内あり（十七日）

群山正米特電

各地寄に連れ更に氣崩れ模様なる一舉に十二月中限二十一圓四十錢現物は十二朝に比し五十錢一氣二十二百一十円高の暴落を演せり（十七日）

京城正米市場

各地正米の安報と兹質物潤澤に氣配愈々不勢となり今朝は地揚上玄二十一圓七十八錢並二十一圓五十錢と前日に比し

五、六十錢安

曲日六錢擱み唱へられしもの今朝は五錢七百在來種五錢四十錢に低落せ一向產地情報は各地を通じ賣物豐富さき意外の値安を警らせるなど眼先商那崩れも兹自を重買控へ勝の勢態度なり

精白は眼先下押

精白米は頃日來原料安の影響商筋にまで丈けに兹原料安の影響を蒙り居れる事にも今朝中に一般軟化の傾勢あり中値も今朝日中には幾分の引下が見らるべし

大豆益惡化

大豆は北海道の安を受けたる内地各方面の買控へによりて人氣益々惡化一氣に期待萬一氣き兹質人は氣走りて十分に附粒の値に現出の兆候もあり時恐慌中を唱へられし荷主は未だ飽迄に見込み付きさるもの〻如市況と亂調なり多少の進人現はれんかの徵候もあり此方も商内も行はるべし

大阪三品特電

○十七日前場寄付

	寄付	後場大引
十一月限	一三三、〇〇	一三三、〇〇
十二月限	一六四、〇〇	一六四、〇〇
一月限	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇
二月限	一八三、〇〇	一八三、〇〇
三月限	一八二、〇〇	一八二、〇〇
四月限	一八二、五〇	一八二、〇〇

○十七日後場寄付

十一月限	一二九、〇〇
十二月限	一五九、〇〇
一月限	一六九、〇〇
二月限	一七三、〇〇
三月限	一七三、〇〇
四月限	一七三、〇〇

仁川正米市場

期米の低落で兹買物手控へ精白米は賣弄筋が多く今朝は二十圓擱みを見せ弄物を見送り居りしも跡亦買人見送り三十四錢にて出二十圓擱みを止む

橫濱生糸特電

○十七日前場

當限寄付	一五三〇、〇〇
先限寄付	一六〇〇、〇〇

綿絲又復崩る

昨小返し歩調なりし大阪三品は再び今朝は前日値に崩れ…の材料を添へ當限二百八十三圓零二限以降の三期も三百圓割れの九十圓臺に陷落せり

米棉一圓安

廣　告

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　黄金町　大正館　日活八七三　十一月十二日より大々的提供　國際劇「萬朝の女給」（全十二卷）　新派悲劇「うすき緣」　人情劇「正義の囁き」（全五卷）　米國ゼーヂ・ペンプーン會社作　喜劇「大藏卿」（全七卷）

日活　明治神宮　鎭座祭の實況及代々木馬場

大活　浪花館　新派悲劇「奧樣茶屋」　活劇「電光石火」（三十一卷の内）第五回第九篇第十篇

特別番組　明治神宮鎭座祭の實況

○新派悲劇　奧樣茶屋

○日活向島派傑作品

御殿「霧隱れ猿飛」（全七卷）

延明院と一心多助（全四卷）

悲劇　火の山（全五卷）

黄金館　電話一六二七番　十一月十二日より上場

正宗劇　結婚難（全六卷）

本町一丁目　有樂館　電話九七番　壽座　十六日より五日間

仁川本町　白神洋行

洋鐵鋼、諸機械　工具附屬品一切

月刊物價表　御申越次第進呈

金物商

京城南大門外　蓬萊町　白神洋行支店

最新刊

朝鮮併合の裏面　小松綠著　二、七五

閒違だらけの衞生　二、〇九

人體に關する面白き話　三、〇八

香港中村吉藏先生　提唱臨濟錄　南天棒著　四、一八

京城本町一丁目　大阪屋號

現株買付法

●●弊店の豫想は的中し！

大暴騰の序幕は切つて落され慘落に續落を重ねたる綿糸も鐘紡も底入りの突破し賣方は大狼狽以て踏返き鐘紡其の他新規株一齊高く愈々本年末の大勢は正に激せり當店は常に株界の大勢を知悉し勝利の歡呼を擧げ來れるが最近日清紡六十七八圓の現下に於て賣買何れも顧客本位に豫想を發表して勝利の歡呼を擧げ來れるが最近日清紡六十七八圓の現下に於ても強く順勝の最も確實なる必ず御利益を見らるべし

安全確實なる利殖法並に營業案內申込次第送呈す

東京市神田區鍛冶町三十五番地

株式現物問屋　武藏屋株式店

電話神田六〇五、四一六九、市場専用五四七、一四七八

振替東京五三二四二　電略（ム）又八（ムラ）

京城南大門通

戶田農具株式會社

農蠶具

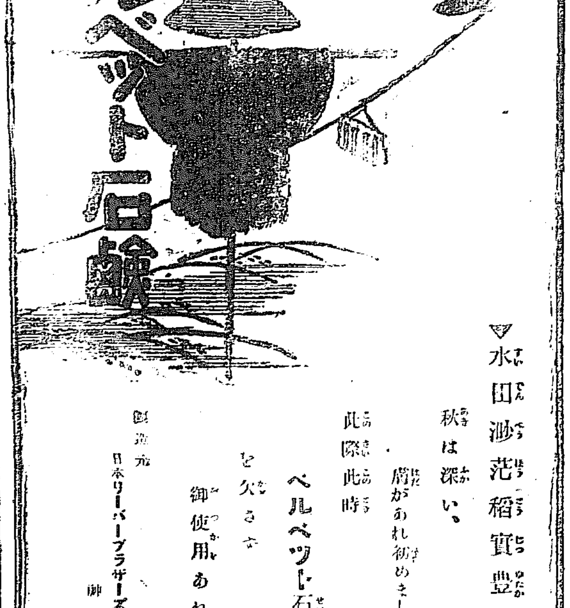
工具　金網

肥料

工場　京城北米倉町

電話長三一八六番　三〇六五番　振替京城三七五番　電話三三七〇番

取締役社長　足立丈次郎　監查役　山岸富雄
常務取締役　戶田春藏　監查役　李柄學
取締役　白完赫　監查役　戶島裕次郎
取締役　篠崎半助　相談役　富田儀作



樺太の石油事

樺太に於ける重油鉱業は[illegible]地下に於て多量を潜在せるは[illegible]少くとも兩三年は試験的のもの[illegible]こに採掘をなす者は多く[illegible]而て著手せる由なり今年[illegible]

昨日黃海及牛島西部を占めつゝある氣壓は東方に移動して日本海方面に逸擴張せしが其の勢力衰へたれば今朝に至り渤海灣に

日十七日午後六時至十八日午後六時　温度　最高　零下〇、四　最低　零下〇、八

日出　午前七時十六分　日入　午後五時二十一分　滿潮（仁川）　午後九時二十五分　午前十時〇分

劍舞（一五四）

碧瑠璃園
挿畫　森田ひさし

お花の運命（四）

その間も金山は度々首を伸ばすやうに、お花の手許を覗いては、まだか〳〵と催促して居たがやつと手紙を書き終つた頃は、すつかり酒の氣が去つて終つて居た

『花ちやんの許に、酒は取つてなからうなあ』

『わたしの家にお酒はありませんわ』

もう此でいつ死んでも思ひ置くことは無いとの安心が、彼女の顔を長閑にした

『酒屋は遠いだらうかねえ』

『いゝわすぐ其處にあります』

『五合入の正宗が一本欲しいなあ、花ちやんがあんまり長い手紙を書いて居るから、すつかり酒が醒めつちまつた』

金山自身の力では、厭な言ひ一つ云ふだけの勇氣も無かつた、お吉を手先に使つて無垢の少女を傷けたことが、今までに幾度もあつたが、それは金山が犯す罪では無くて、酒が犯す罪であつた、彼の目前には彼の望む新らしい花が咲きかけて居るけれど、金山自身の力だけでは、それを手折ることの爲きぬ不甲斐無さを、彼自身の心持が明白に語つて居た

『何ならお買ひして參りませうか』

お花は今書いた書置を錠の掛る手文庫の中へ入れてから云つた

『さうだねえ、花ちやんのお酌で一ぱい飮んで見たいねえ』

『でもまだ起て居ますか知ら』

『大丈夫起きてるよ』斯う云つて腕時計を見たが『大さう遲いね、彼是十二時を打ちさうだね』

『寢て居たら起します、五合入一本でお宜しいのでございますか』

『花ちやん行つて來て呉れるかね』

『えゝ、行つて參ります』

お花は素直に立ちかけたが、たとへ錠の掛つた文庫の中へ入れて置いても、後に置いて行くのは危險だと心付いて、手早くそれを取り出すと慌てゝ懐へねぢ込んだ

金山はそれを見ると、お花を外へ出すことが、危かしいやうな不安を覺ねた、長々しく書いた手紙を持つて出るのは、自分を捨てゝ置いて何處かへ姿を隱すのぢやないかと邪推した、酒を買ひに出したのがいつまでも歸つて來なくて、ほんやりと天明まで待ち明した詰らない自分の姿を見詰めると、今お花を出すことは、掌の中の珠を碎かれるやうな氣持がして來た

『花ちやん、俺はもう酒を飮まないよ、こんなに遲く花ちやんを煩はしてはよくないからね』

『わたしちつとも管ひません』

『いや厭さう』金山は自分を叱るやうに云つたが『仕方がないから夜つぴて話さう、まあそこへ坐りたまへ』

夫でもお花は机の前から離れなかつた

『花ちやんはさぞ心細く思つて居るだらうねえ』

『何故でございます』

『だつて兄さんは居ないし、妾押には遲つてるし、さぞ世の中を形なく思つてるだらうねえ』

『わたしもう覺悟を極めて居ます』

『ごうしてさ』

『お上を欺いた細罰が回つて來たのでせう、兄さんとわたしがこんな事になつてることは知らないで、今頃安心して居るでせうからく兄さんを恨む心にはなりませんわ』

『お前、これから何うして行くつもりなの』

金山はこんな事を尋ねるつもりではなく云ひ掛けた言が、異な方面へ轉じて行つた、それで慌て、思ふ方へ引き戻さう〳〵と考ねるが、ごうしても元の處へは歸らなかつた、

『わたし、何うと云つて考ねてることありませんわ』

金山は不圖座敷の隅を見ると、そこの衣桁に美智子の衣服が掛けてあつた

名刺　電話二七一二番　京城　太平堂　振京一三六七番

內科小兒科　皮膚花柳科　永樂醫院　院長　今村純義　京城永樂町二ノ七　西本願寺前　電話一九四四番

川柳　劍花坊選

先生

○大邱　小幸　先生に困つたことを數へられ

○全北　長平　先生といはれて死ぬる老書生

○大邱　禾堂　先生のオールドミス

○全州　手郎　先生が廊下へ出ると舌を出し

○龍巖浦　暇美知　先生を旦那にすると腹がへり

○博川　骨三生　先生の獨身を云ふ女學生

『南大門』第四號課題

月給　東京　飴ン坊選

下馱　青森　不浪人選

多數決　大連　蛙足選

眞似　京城　黑ン坊選

初對面　仁川　磐梯選

▲規定用紙全半紙一枚十句以內二十句を限る▲各題別紙住所姓名雅號明記▲此外雜吟歡迎締切十二月二十日嚴守▲投稿所仁川寺町一三朝鮮川柳會宛

人參手　京城本町覺・電話一四八一八七〇〇番　ツ　津村兄弟商會

新刊紹介

▲經濟資料（十一月）五十錢東京麴町區有樂町東亞經濟調査局
▲農業世界（十一月）三十錢東京日本橋區本石町博文館
▲庭園（兒童庭園號）三十五錢東京市外戸塚町共協會
▲書道研究（十一月）四十錢東京神田區猿樂町斯華會
▲愛知商品陳列館報告（十月）五錢愛知縣商品陳列所
▲戰友（十一月）八錢東京麴町區飯田町帝國在鄉軍人會本部
▲醫藥新報（十一月）三十三錢東京下谷區仲徒歩町共社
▲外交時報（十一月一日）四十錢東京麴町區下二番町共社
▲精神運動（十一月）東京神田區表神保町共社

▲私の弟が昨日郵便を拾得致しましたが封筒が泥塗れになつて居るので宛名が分りませんが仙臺よりです當地漢江通り拾一番地に配達するのらしいです仲宿に定治、市治、定代樣と云ふ弟樣が有つて漢江通りの兄樣に出されたらしいのです、もし受取なさる方がありましたら御住所を御知らせ下さい直ちに持つて參ります（心配生）▲去る土曜日の午後人通りの多い日韓書房の前で往來に倒れた廣告の大立札を締が元通りに直して行つた二人の技藝學校の生徒を見たそれは此細の事ではあつたがその二人の淑かさに感じた（さしみ生）▲南山人君の葬式に對する御說には贊成であります人世の不幸に附込み乞食を集めて來て而も高い費用を食はす葬儀屋は丸で火事場泥棒同樣である大いに改善させねばならぬ（同感生）▲私は國境に勤務する下級警察官でありますが新聞で拜見すると愛國婦人會で今回吾等の爲に慰問品を御贈與下さるとの事何より喜ばしく思ひます然るに其寄附募集條項に「不用になつた書籍、雜誌、玩具の類」と云ふ樣な記事が有りました、吾等は身分も低く薄給ではあるが自己の地位に對しては多少自尊心を持つて居るのであります不自由はして居るに相違ありませんが窮民の待遇は受け度くありません皆樣の御使ひ古しの賤しき物は寧ろ御辭退したいと思ひます他の同境遇の諸君も御同意だらうと思ひます（鴨江生）

次ぎの小說

本紙連載中の新小說『劍舞』は讀者諸君の好評裡に不日完結を告げる筈であら『劍舞』の後を享けて引つゞき左の小說を掲載する。

曙の色　德田秋聲作

作者は以前しば〳〵本紙上に其の大作を發表して讀者諸君にも馴染が深い。『曙の色』一篇が果して何う云ふ內容を包んであるか、それは今此處で詳しく語ることはできないが、ふと身に振りかゝる不倫の戀を退けたところから、その結婚生活が次第に脅かされ虐げられ、良質の愛を理解せざる利己的な良人によりて一層、苦痛は加はつて來る。しかも死に至るまで、秘密を胸一ツに祕めておく。一人の婦人を中心として其の實家と婚家との二ツの家庭の葛藤を描き波瀾と興趣に富める著者獨得の大作、幸ひに愛讀なたまへ。

●保健長壽の道

昔人が概して長命を保ち衛生思想の發達せる現代人が短命なるは何に基因するか其主なる原因は人口增殖に伴ふ空氣の汚濁によること又大ならんか

魚類が水中に生るが如く
人類は空氣中に生る

此の最も必要なる空氣は如何なる成分なるか簡單に說明すれば空氣中にて酸素が五分の一殘り五分の四は窒素其他を含むもある其中にて人體に最も必要の營素たるオゾーンの含量は極めて微量にして千分の一をも含有せず然れば酸素の補給は別に其効力を認めがたきもオゾーンの補給は微量にても著しく其効顯を顯し生活力の增進するは論を俟たず人口の增殖は益々空氣を汚濁せらるゝを以て知らず〳〵の內に人體の健康を害せらるゝに至るされば本器の發明は此缺點を補ひ人生の幸福を助長せんがため生れたるものにして實に之れ現代に於ける化學進步の偉力にして決して他の模倣を許さず此効力の偉大なる本器を携帶せられ保健長壽の幸福を得られんことを

健康は人生の最大幸福也
流感豫防として非凡の効力を有す
一日の保健料僅に一錢內外
爽快の味はタバコかはりとして理想的
呼吸器病　傳染病豫防
食慾の增進　兩便の快通
流感豫防て又卓効を有す

OZON PIPE　新案特許
二セモノアリ　此窓穴ニ注意
オゾーンパイプ
定價　液入一ケ月分パイプサツク付
一號一組　金貳圓貳拾錢
特一號同　金參圓五十錢
特三號同　金五圓五十錢
以上廿四圓迄　各種送料十錢

到る處の藥店煙草店等にて販賣せり
大阪市櫻橋交叉點東入
發賣元　合資會社　オゾーン商會　電話北二〇三八番振替大阪四〇三九番

特約販賣店　京城本町二丁目　上田藥局　同　天佑堂　飯田洋物店　元山府本町三　平壤大和町　平壤藥品販賣所　羽田商店　朝鮮全州大正町

養成 土木家講習錄
最新式通信教授にて土木學の一般を授け土木技術者を速成す五ケ月修了の講習生を募集す
東京市京橋區南傳馬町　通信工手學校
申込次第詳細規則書無代進呈

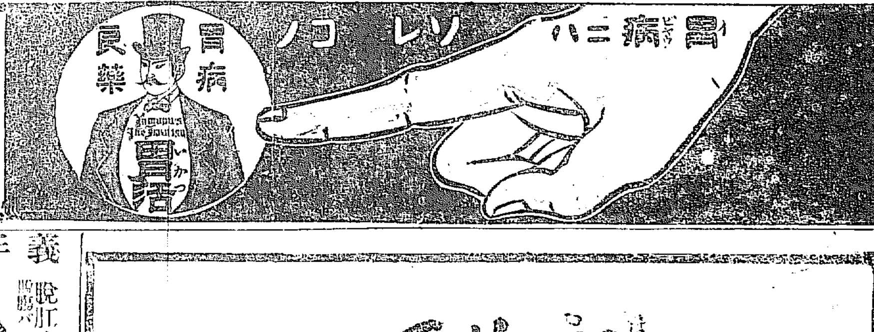
地方通信開始

▲株式生絲期米綿糸　大阪東京仁川兵庫下關其他各地相場を電報で京仁間專用電話を以て最速に通報す（規定書送呈）
▲通信は皆從來の指定に依り急報す
京城府南大門通二丁目參拾番地　京城電報通信社
本社電話長　三三六　一八四〇　三四四九

募集
▲受信略語ケイゼウ〇デン
支局仁川海岸町二丁目　電話九二七番
左記各地に支局主任並に通信員を募集す希望の方は至急履歷書送附又は御來談あれ
平壤　釜山　群山　大邱　木浦　元山　鎭南浦　新義州　大田　大連　安東縣　奉天　長春

産地直接
織元謝恩的投賣
■仲次■問屋■吳服店■皆樣
いよ〳〵本年モ終リニ近ヅキマシタ此際當所ニテハ皆樣カラ多大ノ御引立ニ預リタル御禮トシテ右ノ流行品テ生産地ノ當所ヨリ直接ニ大破格ニテ販賣致マス◎當所ノ品ガ如何ニ良品デ値段ガ安イカ未ダ御試ノナイ御方ハ一品ナリトモ御注文仰付ノ上永久御引立ノ程願上候
最上紬絹大島紬　九圓
最上銘仙　高等織拾四圓
本場錦銘仙　拾圓
上質絹紬　五圓拾錢
用銘仙　六圓
流行縞　二圓拾錢
◎純絹地伴ノ紬大巾五圓　◎純絹ドンス羽織裏六圓七十錢　◎特製羽織裏
△群馬縣桐生町
五割安
御注文ハ男女ノ別華合テはがきで申込バ代引トシテ小包デ送リマス〇萬一不向ノ時ハ取替モ返金モ致マス
元祖　桐生織物元賣捌所

胃病ニハソレコノ



帖佐博士ノ推獎スル五大軍醫ノ合議製藥
評判ノ……胃活ヲ用ヒ玉ヘ

胃病の兆候
▲胸さきつかへ胸惡く
▲胸先へさしこみ
▲食進まず又進み過ぎ
▲臭きゲツプ出で
▲飮み食ひすれば痛み
▲胸腹痛み、生唾出で
▲通じあしく生水を吐き
▲時々腹下り逆せ強く眩暈する等
▲胃病の症狀ですから捨て置かなく胃活を用ひ玉へ
胃活は容量少く容器も美ならざれども
效能本位なり
◎藥は必ず思ひ立たる時買ひ玉へ
◎藥は可成高きものを買ひ玉へ
定價　一圓　五十錢　三十錢　二十錢
本舖　東京　大阪　山田安民藥房
◎全國各藥店にあり

足袋王
つちやたび
爭はれぬは此事實＝
總ての點に於て超越せる
一、事實上日本第一の完備せる工場に於て製出せる―つちやたび
一、綿から糸糸から染から仕上まで當工場內でする―つちやたび
一、五十餘年の經驗に依り御滿足を得るやう製せる―つちやたび
一、型も最上保ちも良くシンクリ合つて皺一つ出ぬ―つちやたび
一、姉妹品として御平常ばきに最も丈夫で經濟なる―いろはたび
製綿工場　製糸工場　染色工場　漂白工場　精錬工場　織布工場
起毛工場　足袋工場　印刷工場　紙函工場　鍛冶工場　看板工場
營業所
本社　久留米市米屋町
東京支店　日本橋區新材木町
大阪支店　東區博勞町心齋橋筋

義手足

脫肛痔ささへ器　胸腹バンド一式
高野義手足製作所　京城本町一丁目（見本郵呈す）

內科　小兒科　入院隨意　ヂアテルミー科　中島病院　京城府明治町一丁目（本江戸川より入る横町）電話二七八番　（肺結核病室）　院主　中島貞信

內科　胃腸病科　診察夜九時迄　石川醫院　京城本町一丁目　電話一三九〇番

痔疾專門　京城久枝肛門病院　京城明治町一丁目　電話一一〇三番

はじめて
日常品か…奢侈品か？
初めて帽子を冠つた時は、冠らない人達からは奢侈だと罵られたに相違ない……
初めて靴を穿いた時は、裸足で居つけてる人間から贅澤だと非難されたに相違ない
初めてシャツを作つた人間は裸で居つた人達からは贅澤だと攻撃されたに違ない……
原料は小麥の蛋白質
初めに贅澤だと感へられた方も…今では
味の素は
決して奢侈品どころか至極經濟で而も便利な家庭には缺くべからざる日用品であることが要求せらるゝ事となつた!!

全國到る處の乾物商食料品店に販賣す